

Design Power KDA

Kyoto Design Association 40th Anniversary 2007

よろこびは、
ここに
ある。



よろこびの清酒
松竹梅

国宝「紅白梅園屏風」尾形光琳

お酒は20歳を過ぎてから。飲酒運転は法律で禁じられています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。飲酒は適量を。のんだあとはリサイクル。🍷

宝酒造株式会社



C o n t e n t s

Design Power KDA

Kyoto Design Association 40th Anniversary 2007

京都デザイン協会創立40周年に寄せて 京都府知事 山田 啓二	2
京都デザイン協会創立40周年に寄せて 京都市長 榎本 頼兼	3
新しいデザイン価値の創造 理事長 久谷 政樹	4
History of 40 year	5
KDAビジョンの提案	20
KDA Member's Work Special member	22
KDA Member's Work Regular member	28
KDA Member's AD Special support member	表2 表3
KDA Member's AD&Approval AD Supporting member	69
奥付	76



京都府知事 山田啓二

京都デザイン協会創立40周年に寄せて

社団法人京都デザイン協会が創立40周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

皆様方の協会は、昭和42年5月に「21世紀への新しい波を京都から!」を設立主旨として創立以来、各ジャンルの第一線で活躍するデザイナー及びデザイン団体が結集し、京都らしい優れたデザインをもつ商品を発掘・発信する「京都デザイン優品選定事業」をはじめとして数々の事業を積極的に展開されるなど、デザインを通じて京都の地域産業の振興と豊かな生活環境の形成に貢献してこられました。

この度、記念すべき40周年を迎えられましたことは、ひとえに久谷理事長をはじめ、歴代理事長、役員、並びに会員の皆様方の御熱意、御尽力のたまものであり、深く敬意を表します。

京都は、1200年の歴史と文化に培われた伝統産業、明治以来いち早く最新の技術を取り入れてきた近代産業そして世界をリードする先端産業とが共存し、「和」と「洋」、「旧」と「新」といった相対するものを巧みに融合させながら新たな価値を生み出すといった、「デザイン」にとってその力を発揮できる最も適した土地であります。

京都デザイン協会が歩んでこられた、この40年間は、高度経済成長、情報化社会、バブル経済の崩壊といった混沌とした時代であり、その中で、「デザインに何ができるか」という課題に積極的に取り組んでこられたが、今、また新たな環境、社会に対し、歴史と伝統そして文化に裏打ちされた美意識をデザインの貴重な資源として、再び原点に立ち返り初心を貫こうという姿勢に、京都におけるデザインの可能性と底力を見る思いがいたします。

人々が「心」の豊かさに重きを置くようになった今日、デザインの果たす役割はますます重要となってきております。

この40周年を契機に会員の皆様方が一層結束を強められ、京都からすばらしいデザインが発信されますよう御期待申し上げますとともに、皆様方のますますの御健勝と御活躍を心から祈念いたしております。



京都市長 **山本 頼兼**

京都デザイン協会創立40周年に寄せて

社団法人京都デザイン協会が記念すべき御創立40周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

社団法人京都デザイン協会におかれましては、高度経済成長期における大量生産の時代にあって、「21世紀への新しい波を京都から」との理念を掲げ、昭和42年に京都デザイン協議会として発足されて以来、グラフィック、インテリア、ディスプレイ、建築、都市計画、プロダクト、テキスタイル、コスチュームなど、幅広い分野の第一線で御活躍されるデザイナーの皆様が一丸となり、デザインを通じて京都の地域産業の振興と豊かな生活環境の形成に寄与してこられました。

また、日本でも歴史の深い「京都デザイン大賞コンペ」「京都デザインビエンナーレ事業」に加え、最近では、「京のプロダクトデザイン振興戦略研究事業」「京都デザイン優品」のほか、デザイナーと職人・企業が気軽に語り合える場づくりを行う「KDA デザインカフェ&スタジオ」にも取り組んでおられます。

これらの御活動は、21世紀の京都の新たな息吹となるものであり、久谷政樹理事長をはじめとされる皆様のおくなく挑戦心ととどまることのない御研鑽に対しまして、深く敬意を表する次第です。

京都では、1200年を超える悠久の歴史の中で、高度な技術、優れた意匠やデザインを有する伝統産業が育まれて参りました。京都市と致しましても、昨年策定しました「京都市伝統産業活性化推進計画」に基づき、伝統産業、ひいては京都経済の更なる活性化に向け、全力を傾注して参りますので、より一層の御支援を賜りますようお願い致します。

結びに、社団法人京都デザイン協会がますます発展されますこと、並びに皆様の御健勝と御活躍を心から祈念致します。



社団法人京都デザイン協会 理事長 久谷政樹

新しいデザイン価値の創造

私たち京都デザイン協会は、1967年5月「21世紀への新しい波を京都から」を設立趣旨として、京都に活動の基盤をおく、各ジャンルの第一線で活躍するデザイナーおよびデザイン団体を結集し、デザインを通じて京都の地域産業の振興と、豊かな生活環境の形成に寄与することを目的として設立されました。

設立当時の日本は、近代以降の技術文明の成果を謳歌するが如く、大量生産、大量消費による高度経済成長時代へ突入してゆきます。高度経済成長はモノとしての充足感を満足させたものの、大量に出回る画一的で無機質な生産品に大衆の離反が始まります。しかし、デザイナーは時代の波に翻弄され、明確なビジョンを打ち出せませんでした。

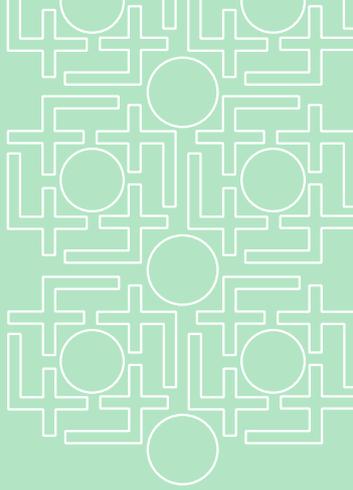
機を同じくして、公害に代表される社会問題が顕著になり、技術文明の反省が求められます。それは人間性の回復の要求であり、モノからこころの価値観の移行を示すものでもありました。

1980年代に入ると電子テクノロジーによる情報化社会の到来を迎えます。少量多品種の生産がコンピュータ管理によって可能になり、差異を明確に見せるデザインが市場から要望されることになるのです。なんの理念も持たないポストモダンと呼ばれたデザインは、そういう要望に見合うものでした。

80年代のバブルと呼ばれる異常な経済状況のもと、日本に世界中のデザイナーが集まり、彼らの手による建築、インテリア、プロダクトが氾濫しました。しかし、バブルの崩壊とともに後遺症を残したままポストモダンもあっけなくその幕を閉じることとなります。

それは、未完に終わったバウハウスやウィリアム・モリスたちのモダンデザインのプロジェクトの可能性を、原点から検討してみることが必要になってきたと言えるのではないのでしょうか。

京都デザイン協会は、ことし創立40周年を迎えます。私たちは、いま、京都の長い歴史とその伝統と文化に裏打ちされた美意識をデザインの貴重な資源として、新しいデザイン価値の創造に挑みます。それは協会設立の原点に立ち返ることであり、初心を貫き通すことでもあると思うからです。



History of 40 years

1967
1968
1969
1970
1971
1972
1973
1974
1975
1976
1977
1978
1979
1980
1981
1982
1983
1984
1985
1986
1987
1988
1989
1990
1991
1992
1993
1994
1995
1996
1997
1998
1999
2000
2001
2002
2003
2004
2005
2006
2007





History of 40 years

と き 時代の流れを 反 映 し て 40 年。
よ み が え る 古 い 記 憶 、 期 待 さ れ る 活 動 の 数 々 。

1967~1968

昭和42年5月~43年3月 理事長 林 大功

京都デザイン協議会設立・発足(5月16日) 京都産業会館

■京都市のデザイン行政に対する提言(7月12日)

■KDCマークの決定(9月5日)



■伝統産業デザイン指導

—その1— 扇子・団扇業界(9月22日)

■京都デザイン協議会会報「KDC」創刊号発行(10月20日)

●KDCデザインサロンの開設

会員相互の親睦をはかり、各ジャンル間の交流及び情報交換の場として、楽しい集いの場となることを目標として発足した。

■'67京都デザインフェアの開催(10月25日~29日)

メインテーマ《波・京都》

●講演会(10月28日) 京都会館会議場

●展覧会(10月25日~29日) 京都市勧業館

第6回京都産業デザイン展の開催

(10月25日~29日) 京都市勧業館 共催・京都市

1968~1969

昭和43年4月~44年3月 理事長 林 大功

■第1回京都デザイン会議の開催(5月21日)

京都会館会議場及び会議室

メインテーマ「現代デザインと京都」

■伝統産業デザイン指導

—その2— 袋物業界

—その3— 金属業界・陶磁器業界・竹工業界・木漆業界

■'68京都デザインフェアの開催(11月30日~12月2日)

メインテーマ《京都・'70年への提言》—人間性の回復—

●第7回京都産業デザイン展の開催

京都市勧業館 共催・京都市

■京都デザイン協議会会報「KDC」第2号発行



1969~1970

昭和44年4月~45年3月 理事長 林 大功

■研究会の開催

●テーマ「カリフォルニア大学建築学教授

サミエル・ハースト氏を囲んで」(5月13日)

■第2回京都デザイン会議の開催(6月6日)

京都会館会議場

メインテーマ「1970年及びその前後」

■第15回京都扇子団扇図案競技会に指導図案の特別出品

■袋物業界デザイン指導事業

■'69京都デザインフェアの開催(10月29日~11月2日)

メインテーマ《視点》—あすへの広場—

●第8回京都産業デザイン展の開催

京都市勧業館 共催・京都市

●シンポジウム(10月30・31日) 京都市勧業館

テーマ「明日の京都産業を考える」

■京都デザイン協議会会報「KDC」第3号発行

1970~1971

昭和45年4月~46年3月 理事長 林 大功

■研究会の開催

●テーマ「デザイン都市京都を考える」(10月13日)

■'70京都デザインフェアの開催(10月29日~11月1日)

●第9回京都産業デザイン展の開催

京都市勧業館 共催・京都市

●シンポジウム(10月29・30日) 京都市勧業館

■京都デザイン協議会会報「KDC」第4号発行

■「KDCホットニュース」第1・2号発行

1971~1972

昭和46年4月~46年3月 理事長 林 大功

■「公共デザイン部会」と「産業デザイン部会」を設立発足

■'71京都デザインフェアの開催(10月29日~11月1日)

■第10回京都産業デザイン展の開催

京都市勧業館 共催・京都市

●パネルディスカッション(10月30日) 京都会館

テーマ「デザイン都市・京都」

■「KDCホットニュース」第3号発行

1972~1973

昭和47年4月~48年3月 理事長 林 大功

■'72京都デザインフェアの開催(10月28日~31日)

●第11回京都デザイン展の開催

京都市勧業館 共催・京都市

●京都デザイン協議会展

テーマ「岡崎文化圏再開発構想」

■京都伝統産業振興に関する論文を募集



History of 40 years

1973~1974

昭和48年4月~49年3月 理事長 林 大功

■'73デザインイヤー協賛

- 第12回京都デザイン展(10月27日~30日)
京都市勧業館 共催・京都市

■世界インダストリアルデザイン会議への参加 (10月11日~18日)

- 国立京都国際会議場
テーマ「人の心と物の世界」

■「KDCホットニュース」第4号発行

1974~1975

昭和49年4月~50年3月 理事長 林 大功

■京都デザイン白書の作成

- 京都のデザイン並びにデザイン業界団体の現況を明らかにするとともにデザインの重要性を広く提言するために作成する。

■'74京都デザインフェアの開催(10月26日~29日)

- 第13回京都デザイン展の開催
京都市勧業館 共催・京都市

■KDC作品展示会の開催

- 本協議会会員の作品展示により、その作品を通して市民・若手デザイナー・関係者との批評、討論を行い、デザインの啓蒙を行なう。

■「KDCホットニュース」第5号発行

- 会員相互のコミュニケーションをはかり、情報の収集・交換を促進する。

1975~1976

昭和50年4月~51年3月 理事長 西脇友一

■京都ファッションフェア'75に共催(5月2日~4日)

- 京都市勧業館 共催・京都市、市、京都織商、他8団体

■第14回京都デザイン展の開催(10月24日~27日)

- 京都市勧業館 共催・京都市
テーマ 各部門共通「まつり」

■デザイン会議の開催(11月8日)

- 京都会議室 後援・京都市、京都新聞社、近畿放送
テーマ「デザイン都市・京都のエネルギー」
~その具体的展開についての提言~

■城南衛生管理組合のマーク選定に関し、相談を受け、協力し感謝状を受けた。

■京都市清掃局の清掃事業に関し、デザイン面からの検討について相談を受けた。

1976~1977

昭和51年4月~52年3月 理事長 西脇友一

■京都ファッションフェア'76に共催(5月11日~13日)

■第15回京都デザイン展の開催(10月22日~25日)

- 京都市勧業館 共催・京都市
テーマ 各部門共通「段」

■第3回京都デザイン会議の開催(3月12日)

京都会議室、京都市伝統産業会館、日図会館
メインテーマ「'77京都の発想」

1977~1978

昭和52年4月~53年3月 理事長 西脇友一

■創立10周年記念事業の実施

- 京都新聞紙上のデザイン宣言
(10月20日)
- 記念式典(10月21日)
- KDC10年のあゆみ展の開催



■「デザイン会議記録・KDC 10年のあゆみ」の刊行

■'77京都デザインフェアの開催(10月21日~25日)

- 第16回京都デザイン展の開催
京都市勧業館 共催・京都市
- KDC会員展の開催

1978~1979

昭和53年4月~54年3月 理事長 西脇友一

■京都クラフトコンペ・京都の開催(9月12日~16日)

- 京都市勧業館 共催・京都市、他4団体
テーマ:「新しいクラフトを求めて」

■第17回京都デザイン展の開催(10月23日~26日)

- 日図デザイン博物館 共催・京都市
テーマ:各部門共通「京都—その新しい波」

■「KDCホットニュース」第6号発行

1979~1980

昭和54年4月~55年3月 理事長 西脇友一

■京都デザイン協議会を京都デザイン協会と改名

■第18回京都デザイン展の開催

- (11月17日~20日)
日図デザイン博物館 共催・京都市
テーマ「KYOTO TODAY」



■受託事業

- 「京都のデザイン政策についての提言」京都市

■「THE MARKS」制作

- 協賛108社



■第1回京都デザイン市民講座の開催(11月17・18日)

- 日図デザイン博物館研修室 共催・京都市

■消費者デザインセミナーの開催(3月26日)

- テーマ「グッドデザインを売って20年」

■商品開発懇話会の開催(3月26日)

- テーマ「'80年代の商品開発」

■勝見勝講演会(3月28日) 日図デザイン博物館

- テーマ「京都のデザイン・世界から見た日本」

■KDAニュースの発行

1980~1981

昭和55年4月~56年3月 理事長 西脇友一

- '80京都デザイン会議の開催(11月23・24日)
京都会館会議場、京都市伝統産業会館、日図デザイン博物館
共催・京都インテリア産業協会、(社)日本図案家協会、(社)日本デザイン協会、京都服飾デザイン協会、(社)京都クラフト、京都伝統産業青年会
テーマ「'80年代への私の主張」
- 第19回京都デザイン展の開催(11月22日~25日)
日図デザイン博物館 共催・京都市
テーマ「80年代への私の主張」
- '81京都デザイン会議の開催(3月30日)
京都会館会議場、京都市伝統産業会館 共催 他7団体
テーマ/デザインムーブメント「昨日・今日・明日」
京都バウハウス考/参加者数 150名
- 「THE MARKS IN KYOTO」制作 協賛121社
- 受託事業
 - 第4回京都ファッション市民大学、シンポジウム、京都の美学「文化と商い」企画と運営
 - 「ポートピア'81」京都ブースの企画、立案、アートディレクション並びにデザイン
- KDAニュースの発行
- '80KDAパフォーマンス クリスマスパーティ
(ホリディン京都)



1981~1982

昭和56年4月~57年3月 理事長 西脇友一

社団法人 京都デザイン協会となる

昭和56年11月11日 設立総会 ホテルフジタにて

- 受託事業
 - 第5回京都ファッション市民大学(主催=京都市・京都商工会議所) 企画と運営協力
- 京都デザインフォーラム '82(主催=京都府)
事業協力と審査員派遣
- '82京都デザイン会議の開催(3月10日)
(社)京都国際工芸センターホール・会議室
共催・他7団体
テーマ「エキサイティング京都」
21世紀へタネをまく知的興奮集会
参加者数 102名

1982~1983

昭和57年4月~58年3月 理事長 西脇友一



第4回総会パーティ

- 第21回京都デザイン展の開催(10月9日~12日)
日図デザイン博物館 共催・京都市

テーマ「感性のうた」

- 「THE MARKS IN KYOTO」制作 協賛100社
- ペーパー・ナウ・イン・ジャパン展(2月17日~27日)
(社)京都国際工芸センターホール
共催・(社)京都国際工芸センター
出品者 三宅一生、イサムノグチ、他24名
- 京都新聞提言キャンペーン(3月8日 京都新聞朝刊)
京都新聞見開き全2頁による京都デザイン関連8団体コール
テーマ「建都1200年から21世紀へ私はこんなタネをまきたい」
- 京都デザインフォーラム '82(主催=京都府)後援ならびに推進協力
- KDAニュースの発行
- 夏の研修会(嵐山)
- 5団体合同ソーシャルパーティ
(東急ホテル)
- '83京都デザイン会議の開催(3月17日)
(社)京都国際工芸センターホール・会議室
共催・他7団体
テーマ「21世紀への提言」
参加者数 100名



1983~1984

昭和58年4月~59年3月 理事長 西脇友一

- 第22回京都デザイン展の開催(10月8日~11日)
日図デザイン博物館 共催・京都市
テーマ「コミュニケーション(Heart to Heart)」
- 受託事業
 - 京都新聞社誌上キャンペーン「京都、美しく。スイートメロン・アベニュー」京都市・商工会議所主催(10回) 企画協力
 - 第7回京都ファッション市民大学、シンポジウム「人間ウォッチング」企画協力
- KDAサロン開設 第1回~第7回
- KDAニュースの発行
- 5団体合同ソーシャルパーティ(からすま京都ホテル)
- '84京都デザイン会議の開催(3月29日)
国立京都国際会館 B2 共催・他7団体
テーマ「京都の未来」明るい、楽しい、美味しい未来
参加者数 145名

1984~1985

昭和59年4月~60年3月 理事長 西脇友一

- 第23回京都デザイン展の開催(11月15日~18日)
日図デザイン博物館 共催・京都市
テーマ「遊感・京都」
- KDA会員展の開催(11月15日~18日)
日図デザイン博物館
- 受託事業
 - 第8回京都ファッション市民大学、シンポジウム「豹変潮流・メタトレンド」企画協力
 - 国際伝統工芸博 ニュークラフトストリートに企画協力
- 京都デザインフォーラム '84(主催=京都府) 後援
- KDAサロン開設 第8回~第11回



History of 40 years

■ KDAニュースの発行

■ '85京都デザイン会議の開催(3月29日)

日図デザイン博物館 共催・他7団体
テーマ「建都1200年に向けて、街並み活性化と美観推進」
参加者数 168名

1985~1986

昭和60年4月~61年3月 理事長 柴田献一

■ KDA調査研究会 第1回(10月11日)

■ 第24回京都デザイン展の開催(11月21日~24日)

日図デザイン博物館 共催・京都市
テーマ「快適・アメニティー」

■ 国際デザインシンポジウム '86神戸の企画並びに参加

(財)国際デザイン交流会

■ KDAサロン開設 第12回・第13回

■ KDAニュースの発行

1986~1987

昭和61年4月~62年3月 理事長 柴田献一

■ 第25回京都デザイン展

主催/(社)京都デザイン協会・京都市
会期/昭和61年10月16日~10月19日
会場/日図デザイン博物館
テーマ/「気」



■ KDA創立20周年記念事業



●式典行事「式典・表彰・パーティー」他
(社)京都デザイン協会創立20周年記念式典
日時/昭和61年11月27日(木)
場所/京都パークホテル バッキンガムの間

●ルーチン事業「美観都市・京都」研究活動

●展覧事業「日本酒オリジナル・ラベルデザイン展」

◎第1回会期 昭和61年10月16日~19日

会場:京都市伝統産業会館1階

◎第2回会期 昭和61年12月15日~25日

会場:ABL・KDA・Cルーム

●KDAサロンの活性化推進事業(月例)

●KDA発・情報普及活動

■ 受託事業 京都土産物協同組合への研究・提言・指導

京都ファッション市民大学 主催:京都市、京都商工会議所
西陣織工業組合に西陣織の新商品コンテストに協力

■ '87京都デザイン会議の開催

主催/京都デザイン関連団体協議会

会期/昭和62年3月29日(日)

会場/日図デザイン博物館

テーマ/「建都1200年へスーパーデザインング'87」

参加者 156名

■ 国際デザインシンポジウム '87神戸の企画並びに参加

■ KDA調査研究会

■ KDAニュース発行

1987~1988

昭和62年4月~63年3月 理事長 柴田献一

■ 京都デザインコンペ '87

会期/昭和62年11月26日~29日

会場/日図デザイン博物館

テーマ/きょうからあすへそして
建都1200年から21世紀へ

THE KYOTO

■ KDA会員展の開催

扇面地紙展

会期/昭和62年11月26日~29日

会場/日図デザイン博物館

出展者数/41名

■ 受託事業

●京都工芸土産品組合とのジョイント製作展

会期/昭和62年11月26日~29日

会場/日図デザイン博物館

●京都ファッション市民大学

主催 京都市、京都商工会議所

■ 世界歴史都市博、世界歴史都市会議に参画

■ 第43回国民体育大会準備委員会に参画

■ '87国際テキスタイルデザインフェアに参画

主催/'87国際テキスタイルデザインフェア・世界織物会議
開催委員会

■ 国際デザインシンポジウム '87に参画

主催/(財)国際デザイン交流協会

■ デザイナーレ '87に参加

主催/大阪デザイン団体連合、(財)国際デザイン交流協会、
(財)大阪デザインセンター

■ '88京都デザイン会議の開催

主催/京都デザイン関連団体協議会

会期/昭和63年3月27日(日)

会場/日図デザイン博物館

テーマ/「ライフウォッチング'88」

参加者/140名

■ KDAニュース発行

1988~1989

昭和63年4月~平成元年3月 理事長 柴田献一

■ 第27回京都デザインコンペ '88

主催/(社)京都デザイン協会、京都市

会期/昭和63年10月23日(日)~10月26日(水)

会場/日図デザイン博物館

■ 受託事業

●京都ファッション市民大学

●ソフトウェア開発技術表彰における副賞制作の依頼

●滋賀県産地活性化推進事業

●京都市パイロット・ショップ(東京青山に開設)

■ 第24回福祉機器デザインコンペ 共催



会期/1988年10月29日(土)~10月30日(日)

会場/京都市西京極総合運動公園

■国際デザインコンベンション'88大阪 参画

主催/(財)国際デザイン交流協会

■京都市パイロット・ショップに運営協議会委員として協力、参加

■WFF(ワールドファッションフェア)京都推進協議会に参画、協力

■ITF(国際テキスタイルデザインコンペティション)実行委員会に参画、協力

■KDAサロン ジャンジャンクラブ



ジャンジャンクラブ

■'89京都デザイン会議の開催

主催/京都デザイン関連団体協議会

会期/平成元年3月18日(土)

会場/日図デザイン博物館・京都伝統産業会館

テーマ/京都のキーワードを探る

参加者/120名

■KDAニュース

1989~1990

平成元年4月~2年3月 理事長 柴田献一

■'89京都デザイン優品選定事業(第1回)

■第28回京都デザインコンペ'89

会期/平成2年11月9日(木)~11月12日(日)

会場/日図デザイン博物館

■受託事業

- 京都ファッション市民大学
- 滋賀県産地活性化推進事業
- 世界デザイン会議

キャラバンコンGRESS・イン・京都



■'90京都デザイン会議の開催

主催/京都デザイン関連団体協議会

会期/平成2年3月24日(土)・25日(日)

会場/京都市国際交流会館

参加者/270名

テーマ/「新・風・流 はんなり」



■福祉デザインコンペ'89京都 共催

■ITF(国際テキスタイルコンペティション)'89京都

■WFF(ワールドファッションフェア)'89

■世界デザイン会議 参画

■国際デザイン展'89 参画

■デザイナーレ'89 参画

■京都市パイロット・ショップに運営協議会委員として協力、参加

■KDAサロン

■KDAニュース

■第14回京都ファッション市民大学

■福祉機器デザインコンペ'90KYOTO 共催

■第29回京都デザイン大賞コンペ

テーマ/現代のデコレーション

■参画事業

●ファッション京都ネットワーク推進事業 参画

●国際ファッション・シンポジウム'91 参画

■受託事業

●滋賀県産地活性化推進事業

■KDAサロンの開催

「ハワイアン・ドリーム」

会期/1990年8月23日(木)

会場/京都市国際交流会館イベントホール



■100人のクリエイターによるデザインシンポジウム

イン・キョウト祇園「タテ・ヨコ・ナナメ」

会期/平成2年9月10日(月)・11日(火)

12日(水) 午後2時~

会場/ABLホール3F



■KDAサロン開催

「映画サロン名タイトル集」

■当協会クリスマスパーティー

「アデュー'90」

会期/1990年12月12日(水)

会場/京都河原町マイジャービル8Fホール



■'91京都デザイン会議

主催/京都デザイン関連団体協議会(12団体)

会期/平成3年3月30日(土)

会場/YOU AND I(京都私学会館)

参加者/約200名

テーマ/新・建都のデザインを考える“THE STATION”

■都市美観研究会

テーマ/木屋町通三条~四条間東側街並み整備提案

会期/平成2年10月~平成3年3月末

■(社)京都デザイン協会25周年記念

会員作品展「京曼陀羅'91未来デザイン都市」日図デザイン博物館

■京都市パイロット・ショップに運営協議会委員として協力、参加

■(社)京都デザイン協会NEWS発行

■(社)京都デザイン協会 会員名簿作成

1990~1991

平成2年4月~3年3月 理事長 今西 慧



第10回総会式次第

1991~1992

平成3年4月~4年3月 理事長 今西 慧/本郷大田子

■ヒューマンデザインコンペ'91 共催

会期/1991年10月26・27日(土・日)

会場/日図デザイン博物館





History of 40 years

■'91京都デザイン優品選定事業(第2回)

■創立25周年・社団法人10周年

特別記念事業

■「情報誌」出版事業

■'92京都デザイン会議

主催/京都デザイン関連団体協議会(12団体)

会期/平成4年3月7日(土)

会場/京都市国際交流会館

参加者/約200名

テーマ/新・建都のデザインを考える「京都美観醜観論」

■(社)京都デザイン協会25周年記念出版

「キョートイメージ1992」

1992年3月31日発行



■第30回京都デザイン大賞コンペ

テーマ/手の発言

■当協会会員展

テーマ/京のかたち'91

会期/平成3年12月21日(土)~23日(祝)

会場/日図デザイン博物館

■京都デザイン大賞コンペ第30回記念 特別セミナー開催

テーマ/クリエイター放談「手は口ほどに物をいい」

会期/平成3年12月23日(月祝)

会場/日図デザイン博物館

■ファッション京都ネットワーク推進事業 参画

■第15回WCCアジア総会&アジア・太平洋工芸会議 '91京都 参画

■第3回国際テキスタイルコンペティション —京都— 参画

■国際デザイン・コンベンション '91 —兵庫— 参画

■国際デザイン・コンベンション '91 —九州— 参画

■国際デザイン展 '91に協力・参画

■平安建都1200年記念

「KANSAI YAMAMOTO・FASHION+ARTS」に協力、参画

■受託事業

●滋賀県産地活性化推進事業

期間/平成3年4月~平成4年3月末

実施機関/浜縮緬工業協同組合

●'92 made in KYOTOベストデザイン賞事業

■KDAサロンの開催「KDAシネマサロン・ラブシーン特集」

■KDAサロンの開催「KDA年忘れかくし芸大会」

■当協会都市美観研究会

■受託京都市パイロット・ショップに運営協議会委員として協力、参加

■京都府中小企業対策協議会に委員として協力、参加

■(社)京都デザイン協会NEWS発行

■(社)京都デザイン協会 マメまめ短信(FAXによる通信)発行

■広報対象団体・個人の名簿整理・調査

1992~1993

平成4年4月~5年3月 理事長 本郷大田子

■(社)京都デザイン協会25周年記念式典

京都デザイン賞授与式

会場/京都ブライトンホテル

会期/1992年5月13日(土)



■第1回(社)京都デザイン協会文化ナイトフォーラム「サウンドスケープ in 三千院」開催

会期/1992年9月19日(土)

会場/大原・三千院境内「往生極楽院」

参加者/約300名



■記念事業報告

●ベストマーク1200「KYOTOベストマーク集」発行

「印」サインの編集発行

発行年月日

1992年12月10日



■KDAサロンの開催

■1992フェアウェル・KDAライブ&パーティ

■第31回京都デザイン大賞指名コンペ

テーマ/「布」

■ヒューマンデザインコンペ '92 共催

■ファッション京都ネットワーク推進事業 参画

■第5回国際デザイン・キャンプ '92 —松本— 参画

■国際デザイン・コンベンション '92 —新潟— 参画

■国際デザイン・コンベンション '92 —広島— 参画

■受託事業

●Made in KYOTO'93 ベストデザイン賞

主催/京都府

会期/1993年3月11日(木)~16日(火)

会場/京都クラフトセンター

■京都市パイロット・ショップ運営協議会委員として協力、参加

■京都府中小企業対策協議会に委員として協力、参加

■(財)平安建都千二百年記念協会開催検討部会に委員として協力、参加

■(社)京都デザイン協会 NEWS発行

■(社)京都デザイン協会 マメまめ短信(FAXによる通信)発行

■(社)京都デザイン協会 KDA Letter

■地域デザイン会議 '93「京都デザイン会議」

主催/財団法人日本産業デザイン振興会、京都デザイン関連団体協議会(12団体)

会期/1993年3月23日(火)・24日(水)

会場/国立京都国際会館 ルームA他

参加者/約500名

テーマ/京都デザインルネッサンス—地域から世界へ—

1993~1994

平成5年4月~6年3月 理事長 本郷大田子

■第1回(社)京都デザイン協会賛助会員交流フォーラムの開催

テーマ/デザインは魔法のランプか

会期/1993年6月4日(金)

■第2回(社)京都デザイン協会文化フォーラム「サウンドスケープ in 東山・高台寺」の開催

テーマ/夢ひびき

会期／1993年11月13日(土)

会場／東山・高台寺(方丈)

■Made in KYOTO '94京都デザイン優品選定事業

主催／京都府(選定商品展)

会期／1994年3月10日(木)～15日(火)

会場／京都クラフトセンター

■第32回京都デザイン大賞コンペ

テーマ／「自分自深」

「平安建都1200年記念」特別事業

大晦日に、羽織袴で平安神宮へ参拝。

■ヒューマンデザインコンペ'93 共催

■'94京都デザイン会議の開催(京デ協)

主催／京都デザイン関連団体協議会(12団体)

会期／1994年3月19日(土)

会場／国立京都国際会館 ルームD他

参加者／約200名

テーマ／人類はどこへむかっているのか

—いまデザインを考える—

■ファッション京都推進協議会ネットワーク事業 参画

■京都市パイロット・ショップ運営協議会委員・商品選考委員会委員として協力、参加

■京都府中小企業対策協議会に委員として協力、参加

■京都府デザイン振興対策協議会に委員(副会長)として協力、参加

■21世紀の障害者福祉を考える懇談会に委員として協力、参加

■(財)平安建都千二百年記念協会行催事検討部に委員として協力、参加

1994～1995

平成6年4月～7年3月 理事長 本郷大田子

■平安遷都1200年記念

■第3回(社)京都デザイン協会文化ナイトフォーラム

「夢あかり in 高台寺」

テーマ／夢あかり

会期／1994年10月16日

会場／東山・高台寺(方丈)



■京都国際デザイン祭('95京都デザイン会議)

主催／京都デザイン関連団体協議会(12団体)



共催／ファッション京都推進協議会、ACCD(アジア)建設推進会議

会期／1994年10月23日(日)～25日(火)

会場／国立京都国際会館大会議場

参加者／約1,500名

テーマ／心地よさの予感

—デザインシャワーを浴びて—

<23日>「挑発するデザイン—イタリア・京都」空間と環境

<24日>「反発するデザイン—パリ・京都」都市と創造

<25日>「爆発するデザイン—アジア・京都」創造の発見

■社団法人京都デザイン協会

新・ロゴマーク決定



■ヒューマンデザインコンペ'94共催

■Made in KYOTO '95京都デザイン優品選定事業

■ファッション京都推進協議会ネットワーク事業参画

■京都市パイロット・ショップ運営協議会委員・商品選考委員会委員として協力、参加

■京都府中小企業対策協議会に委員として協力、参加

■京都府デザイン振興対策協議会に委員(副会長)として協力、参加

■21世紀の障害者福祉を考える懇談会に委員として協力、参加

■(財)平安建都千二百年記念協会行催事検討部に委員として協力、参加

■国際紙シンポジウム'95に委員として協力、参加

■ACCD(アジア)建設推進協議会に幹事として協力、参加

■受託事業

●「ふれんど京都府バッジ」のデザイン作成に関する協力

●京都府伝統工芸品に係わるロゴタイプ、シンボルマーク及び指定証書のデザイン制作

■第1回KDAサロン「年忘れ手造りサロン」

会期／1994年12月26日(月)

会場／文斎窯

■Made in KYOTO

'94京都デザイン優品選定事業

主催／京都府(選定商品展)

会期／1995年3月9日(木)～14日(火)

会場／京都クラフトセンター



■第33回京都デザイン大賞コンペ

テーマ／「京都スタイル」

主催／京都市、(社)京都デザイン協会、京都商工会議所

会期／1995年1月4日(水)～10日(火)

会場／祇園ABLホール

■第2回KDAサロン「松本酒造(日出盛)蔵元・新酒をいただく会」

会期／1995年3月11日(土)

1995～1996

平成7年4月～平成8年3月 理事長 本郷大田子

■サロンの開催

●第1回陶芸サロン

会期／1995年4月1日(土)

会場／文斎窯

●祇園祭・町家サロン

会期／1995年7月14日(金)

会場／無名舎(吉田孝次邸)



■第1回ミニフォーラム

「縦・ヨコ・ななめ」の開催

主催／(社)京都デザイン協会

会期／1995年9月7日(木)

会場／祇園ABLホール会議室

テーマ／「メディアデザインのゆくえ」





History of 40 years

■第4回(社)京都デザイン協会文化ナイトフォーラムの開催

主催／(社)京都デザイン協会
テーマ／八代亜紀の唄をデザインする
会期／1995年10月15日
会場／上七軒歌舞練場

■第34回京都デザイン大賞コンペ

テーマ／「京都スタイル」
主催／京都市、(社)京都デザイン協会、京都商工会議所
会期／1996年1月4日(水)～10日(火)
会場／祇園ABLホール



■Made in KYOTO'96京都デザイン優品選定事業

主催／京都府
〈選定商品展〉
会期／1996年3月7日(木)～12日(火)
会場／京都クラフトセンター

■KDA会員展の開催

主催／(社)京都デザイン協会
会期／1996年3月11日(月)～17日(日)
会場／みすやギャラリー
テーマ／「顔」陶板

■'96京都デザイン会議の開催(京デ協)

主催／京都デザイン関連団体協議会(11団体)
会期／1996年3月30日(土)
会場／高台寺「方丈の間」
テーマ／「技のストックーデザインの夢ー」

■ヒューマンデザイン大賞コンペ '95 共催

- ファッション京都推進協議会ネットワーク事業 参画
- ファッション京都推進協議会シンポジウム事業 協力、参加
- 京都府中小企業対策協議会に委員として協力、参加
- 京都府デザイン振興対策協議会に委員(副会長)として協力、参加

1996～1997

平成8年4月～9年3月 理事長 本郷大田子

■KDA創立30周年、社団法人化15周年 in 特別記念事業

会期／1996年12月10日(火)～15日(日)
会場／日図デザイン博物館
テーマ／「キョートデザイン30・愛と優しさ—Creation & Mind—」
●創立30周年記念式典



- 第5回京都デザイン賞の選定「京都発のデザインを誇ろう」
- KDA公開シンポジウム
「デザインとゴミの関係ーパッケージがー」
- KDAテンセルコミュニケーション展
- KDAデザインショー展
- バリアフリーデザイン展

■Made in KYOTO '97 京都デザイン優品選定事業



〈選定商品展〉

主催／京都府
会期／1996年12月10日(火)～15日(日)
会場／京都市勧業館「みやこめッセ」地下1F第1展示場

■第5回文化ナイトフォーラムの開催

主催／(社)京都デザイン協会
会期／1996年12月15日(日)
会場／京都市勧業館「みやこめッセ」地下1F大会議室
テーマ／「夢ごち」デザインはジャンルを越える

■第35回京都デザイン大賞コンペ

主催／京都市、京都商工会議所 (社)京都デザイン協会
会期／1996年12月10日(火)～15日(日)
会場／京都市勧業館「みやこめッセ」地下1F第1展示場



田中一光氏

■'97京都デザイン会議の開催(京デ協)

主催／京都デザイン関連団体協議会(11団体)
会期／1997年3月28日(金)
会場／旧、明倫小学校
テーマ／「エコ・デザイナーしまつは蘇るか」

■奥越地場産業活性化事業



■ヒューマンデザイン大賞コンペ '97 共催

- ファッション京都推進協議会ネットワーク事業 参画
- 第5回国際テキスタイルコンペティション'97 参画
- 京都市パイロット・ショップ運営協議会委員・商品選考会委員会委員として協力、参加
- 京都府中小企業対策協議会に委員として協力、参加
- 京都府デザイン振興対策協議会に委員(副会長)として協力、参加
- KDAサロン

■KDA会員活動委員会

- バリアフリーデザイン研究会
- エコデザイン研究会
- デジタルコミュニケーション研究会

1997～1998

平成9年4月～10年3月 理事長 本郷大田子

■Made in KYOTO '98 京都デザイン優品選定事業

〈選定商品展〉
主催／京都府
会期／1997年12月4日(木)～9日(火)
会場／京都クラフトセンター

■文化ナイトフォーラムの開催

会期／1997年12月5日(金)
会場／上七軒歌舞練場
テーマ／芸歴50周年記念「露の五郎 話芸を楽しむ夕べ」

■地球温暖化防止京都会議開催記念

「地球環境ポスターデザインフェア」
第36回京都デザイン大賞コンペ・ポスター大賞展
主催／地球温暖化防止京都会議支援実行委員会、京都市、京都商工会議所、(社)京都デザイン協会
会期／1997年12月9日(火)～14日(日)
会場／日図デザイン博物館

■第2回KDA会員展

主催／(社)京都デザイン協会
会期／1998年2月24日(火)～3月1日(日)
会場／志摩画廊

■'98京都デザイン会議の開催(京デ協)

主催／京都デザイン関連団体協議会(11団体)
会期／1998年3月27日(金)
会場／京都市勧業館「みやこめっせ」地下1F大会議室
テーマ／「こころ」—夢は未来の予行演習2020—

■ヒューマンデザイン大賞コンペ'97 共催

■ファッション京都推進協議会ネットワーク事業 参画

■KDAサロンの開催

■KDA会員活動委員会

- バリアフリーデザイン研究会
- エコデザイン研究会
- デジタルコミュニケーション研究会

1998～1999

平成10年4月～11年3月 理事長 本郷大田子

■Made in KYOTO '99 京都デザイン優品選定事業

〈選定商品展〉
主催／京都府
会期／1998年12月17日(木)～22日(火)
会場／京都クラフトセンター

■第37回京都デザイン大賞コンペ

主催／京都市、京都商工会議所(社)京都デザイン協会
会期／1998年12月9日(水)～13日(日)
会場／日図デザイン博物館
テーマ／伝統とデザイン
京都スタイル



■露乃五郎兵衛碑建立事業

主催／(社)京都デザイン協会
会期／1999年1月30日(土)
会場／北野天満宮内



■第7回文化ナイトフォーラムの開催

会期／1999年2月10日(火)
会場／ART COMPLEX1928
テーマ／「京の洋館VS京の町家」

■第3回KDA会員展

会期／1999年3月23日(火)～3月28日(日)
会場／同時代ギャラリー

■'99京都デザイン会議の開催(京デ協)

主催／京都デザイン関連団体協議会(11団体)
会期／1999年3月27日(土)
会場／京都市勧業館
「みやこめっせ」
地下1F大会議室



テーマ／「1900年代までのデザインを振り返って、そして明日を」
—今日までのデザイン明日のデザイナー—

■ファッション京都推進協議会ネットワーク事業 参画

■ファッション京都推進協議会シンポジウム事業 参画

■京都市パイロット・ショップ運営協議会委員・商品選考委員会委員として協力、参加

■国際テキスタイルコンペティション運営委員会委員に共催 団体として協力、参加

■KDAサロン

■協力事業

- 京都府デザイン振興対策協議会
- アメニティ・デザイン・フォーラム

■KDA会員研究委員会

- バリアフリーデザイン研究会
- エコデザイン研究会
- デジタルコミュニケーション研究会

1999～2000

平成11年4月～12年3月 理事長 本郷大田子

■京都優品

デザインバイブル発行



■京都デザイン資源活用普及事業

■第38回京都デザイン大賞コンペ1999

主催／京都市、京都商工会議所(社)京都デザイン協会
会期／1999年12月9日(木)～12日(日)
会場／日図デザイン博物館
テーマ／「伝統とデザイン・21世紀の京都」

■'00京都デザイン会議の開催(京デ協)

主催／京都デザイン関連団体協議会(11団体)
会期／2000年3月30日(木)
会場／知恩院山門下
テーマ／「京都をいっぺん診なおそう」

■ファッション京都推進協議会ネットワーク事業 参画

■ファッション京都推進協議会シンポジウム事業 参画

■国際テキスタイルコンペティション運営委員会委員に共催 団体として協力、参加

■KDAサロン

■KDA関連デザイン団体との親睦交流

■受託事業

- 奥越地域繊維産業集積活性化事業

■KDA会員研究委員会

- ユニバーサルデザイン研究会
- エコデザイン研究会
- デジタルコミュニケーション研究会



2000～2001

平成12年4月～13年3月 理事長 本郷大田子

■第4回KDA会員展

会期/2000年4月4日(火)～4月9日(日)

会場/同時代ギャラリー

■京都デザイン優品2001選定事業

主催/京都府、(財)京都府中小企業振興公社、(財)京都府産業情報センター

審査日/2000年10月17日(火)

会場/京都リサーチパーク 選定数 76点

■第39回京都デザイン大賞コンペ2000

主催/京都市、京都商工会議所、(社)京都デザイン協会

会期/2000年11月3日(金)～5日(日)

会場/日図デザイン博物館

テーマ/「創造新世紀」—Towards the Century of Creative Imagination—

■受託事業

●奥越地域繊維産業集積活性化事業

主催/(財)奥越地域地場産業振興センター

会期/2000年11月10日(金)～16日(木)

会場/京都駅ビル室町小路広場

テーマ/「和紙布」

■ファッション京都推進協議会ネットワーク事業 参画

■ファッション京都推進協議会シンポジウム事業 参画

■くろちくサロン

第1回

日時/2000年8月11日(金)

テーマ/「京の若者」—伝統との葛藤、守るか攻めるか—

第2回

日時/2000年10月5日(木)

テーマ/「祭りのデザイン」

第3回

日時/2000年11月29日(木)

テーマ/「アメリカのベンチャー事情」

—京都は変わるか、その時デザインは—

第4回

日時/2000年12月27日(水)

テーマ/「京のしきたり・正月迎え」21世紀

—京の伝統は消えるのか—

第5回

日時/2001年1月29日(月)

テーマ/「京の味覚、伝承の味」

—京の名産は本当か、21世紀は変わるのか—

■'01京都デザイン会議の開催(京デ協)

主催/京都デザイン関連団体協議会(11団体)

会期/2001年3月28日(水)

会場/ART COMPLEX 1928

テーマ/「21世紀のデザインは私が創る」

—学生・若手クリエイターの主張—

■KDA会員研究委員会

●ユニバーサルデザイン研究会

●エコデザイン研究会

●デジタルコミュニケーション研究会

2001～2002

平成13年4月～14年3月 理事長 本郷大田子

■KDA会員展

●第5回KDA会員展

会期/2001年4月17日(火)～4月22日(日)

会場/同時代ギャラリー

●第2回KDAチャリティー作品版画展

■第1回京都デザインビエンナーレの開催準備

主催/京都市、京都商工会議所、(社)京都デザイン協会

テーマ/「伝統とデザイン」

(京都から世界へ向けて)

会期/2002年11月22日(金)～24日(日)

会場/日図デザイン博物館



■京都デザイン優品2002選定事業

主催/京都府、(財)京都産業21、(社)京都デザイン協会

審査日/2001年9月20日(木)

会場/成安造形短期大学

選定数/69点(36社)



■KDAサロン

■KDA春季親睦会

■くろちくサロン

第1回

日時/2001年6月30日(土)

場所/祇園くろちくビル4階

テーマ/「東京事情」

第2回

日時/2001年9月26日(水)

場所/(協)和座百衆

テーマ/「デザインビジネスを探る」

第3回

日時/2002年3月28日(木)

場所/京都西陣町家スタジオ

テーマ/「ブロードバンドによる京都からの情報発信」

■KDA会員研究委員会

●ユニバーサルデザイン研究会

●デジタルコミュニケーション研究会

●第1回国際交流委員会

会期/2001年7月6日

会場/おたや

テーマ/「アジアネットワークへの道」

●第2回国際交流委員会

会期/2001年10月14日

会場/京都市国際交流会館

テーマ/「アフガニスタンの現況報告」

■KDA会員展

●第6回KDA会員展

会期/2002年3月26日(火)～3月31日(日)

会場/ギャラリー「カト」

テーマ/俳句を版画で表現

●第3回(善意の輪) KDAチャリティー作品展

出品数/20点

寄贈先/社会福祉法人東九条のぞみの園、島原のぞみ支援センター

■'02京都デザイン会議(京デ協)

主催/京都デザイン団体協議会(11団体)
会場/上七軒「くろすけ」(町家)
テーマ/デザイナーズコラボレーション(つなぐ)

■ファッション京都推進協議会ネットワーク事業 参画

■ファッション京都推進協議会シンポジウム事業 参画

■受託事業

●奥越地場産業振興事業

2002~2003

平成14年4月~15年3月 理事長 本郷大田子・久谷政樹

■京都デザイン優品2003選定事業

主催/京都府、(財)京都産業21、(社)京都デザイン協会
審査日/2002年10月19日(土)
会場/京都市立芸術大学
選定数/48点(38社)

■第1回京都デザインビエンナーレ2002

主催/京都市、京都商工会議所、
(社)京都デザイン協会
テーマ/「伝統とデザイン」—京都から世界へ向けて—
会期/2002年11月22日(金)~24日(日)
会場/日図デザイン博物館

■KDA京町家くりえいていぶサロン

第1回
日時/2002年7月26日(金)
テーマ/「中国雑談議」
第2回
日時/2002年10月28日(金)
テーマ/「コカ・コーラのわが国に於ける広告戦略」
第3回
日時/2002年11月16日(土)
テーマ/「京町家で癒しのこんさーと」
内田奈織ハープ&ピアノ
第4回
日時/2003年1月25日(土)
テーマ/「京町家で(竹の箆)を手作りする(ものづくり教室)」



■京都デザイン優品2004選定事業

主催/(社)京都デザイン協会
公募期間/2003年2月10日締め切り
審査日/2003年3月27日(土)
会場/京都市立芸術大学
応募数/142点(74社)
選定数/54点(38社)
○京都デザイン優品相談会

日時/2002年9月より6回実施
会場/京都西陣町家スタジオ

■'03京都デザイン会議(京デ協)

主催/京都デザイン団体協議会(11団体)
会場/上七軒「くろすけ」(町家)
テーマ/デザイナーズコラボレーション(つなぐ)

■KDA新春会員交流会

■KDA会員交流会

■ファッション京都推進協議会ネットワーク事業 参画

■KDA会員研究委員会

●ユニバーサルデザイン研究会
●エコデザイン研究会
●デジタルコミュニケーション研究会

2003~2004

平成15年4月~16年3月 理事長 久谷政樹

■奈良デザイン協会との交流会

◎第1回
日時/2003年4月5日(土)
会場/重森三玲邸→祇園レストラン菊水→円山公園
◎第2回
日時/2003年7月12日(土)
会場/なら工芸館

■第1回京都デザインビエンナーレ東京展の開催

主催/京都市、(社)京都デザイン協会
テーマ/「伝統とデザイン」—京都から世界へ向けて—
会期/2003年8月26日(火)~30日(日)
会場/京都館(東京・赤坂・アーク森ビル)

■KDA京町家くりえいていぶサロン

第1回
日時/2003年7月25日(金)
テーマ/「21世紀の新しい波を京都から!」
講師/南澤 弘
会場/京都西陣町家スタジオ
第2回
日時/2003年11月1日(土)
テーマ/「たのしい写真の撮り方」
講師/鳥山 生夫
会場/京都西陣町家スタジオ
第3回
日時/2003年11月22日(土)
テーマ/「篆刻を楽しむ」
講師/傅 魏
会場/京都西陣町家スタジオ

■京都伝統産業青年会とのコラボレーション

テーマ:「技と心」~伝わりそして伝える~
《あかりプロジェクト》
会期/2003年11月1日(火)~24日(月)
会場/青蓮院門跡

■KDA会員展

会期/2004年1月29日(木)~2月4日(水)
会場/メディックムツミ堂フォトギャラリー
テーマ/「デザイナーが捉えた・きょう de サイン」

■KDA新春会員交流会

日時/2004年1月29日(木)
会場/アサヒビアレストラン「スーパードライ」

■ファッション京都推進協議会シンポジウム事業 参画

■KDA会員研究委員会

●ユニバーサルデザイン研究会
●エコデザイン研究会

■'04京都デザイン会議(京デ協)



History of 40 years

2004~2005

平成16年4月~17年3月 理事長 久谷政樹

■春の懇親ゴルフコンペ

日時/2004年4月9日(水)
会場/信楽カントリー

■京都デザイン優品2005選定事業

主催/(社)京都デザイン協会
公募期間/2004年11月19日締め切り
審査日/2004年12月18日(土)
会場/京都市立芸術大学
応募数/108点(53社)
選定数/28点(19社)
○京都デザイン優品相談会
日時/2004年5月より10回実施
会場/京都西陣町家スタジオ



■京都伝統産業青年会とのコラボレーション

テーマ:「京・伝・産・青」
会期/2004年11月19日(金)~23日(火)
会場/青蓮院門跡

■室町プロジェクト

室町の将来を危惧する一部の企業からの要請により、プロジェクトを立ち上げ。今期はヒアリングを主体として各社との事前会議を持ち、次年度には推進母体を具体的に進めていく

■KDA会員展

会期/2005年1月24日(月)~2月1日(火)
会場/新風館3Fトランスジャンル
テーマ/デザイナーが捉えた
きょう de サイン
「私の好きな京都・嫌いな京都」

■KDAサロン

第1回京都デザイナー交流会
日時/2004年8月27日(金)
テーマ/めざめよ!デザイナー達
「残夏の夜のデザイナー交流会」

参加者/48名
第1部 記念講演「京都のデザインを考える」
KDA理事長 久谷政樹

第2部 交流会パーティー
会場/リーガロイヤルホテル
第2回京都デザイナー交流会
日時/2005年1月28日(金)

テーマ/デザイナーが捉えた
「好きな京都、嫌いな京都」

参加者/74名
第1部 新春パネルディスカッション
「好きな京都、嫌いな京都」



第2部 交流会パーティー
会場/新風館レストラン「hafuu...」

■ファッション京都推進協議会シンポジウム事業 参画

■近畿圏デザイン協会

◎第1回事業交流会
日時/2004年5月30日(日)

会場/レストラン萬京

◎近畿圏デザイン協会第1回研究交流会実行委員会
日時/2004年10月9日(土)

◎近畿圏デザイン協会第2回研究交流会実行委員会
日時/2004年12月11日(土)
会場/京都烏丸綾小路「かごの屋」

◎近畿圏デザイン協会第3回研究交流会実行委員会
日時/2005年3月19日(土)
会場/神戸市勤労会館

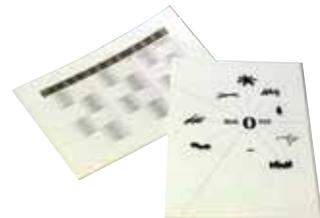
■奈良デザイン協会との交流会

◎奈良デザイン協会創立20周年記念事業参加
日時/2004年9月25日(土)
会場/奈良市男女共同参画センター
テーマ/これからの観光を考える

■'05京都デザイン会議の開催

日時/2005年3月11日(金)
会場/ウイングス京都
テーマ/京都型プロダクトデザインは成立するのか

■京(みやこ)のプロダクトデザイン 振興戦略研究事業



主催/(社)京都デザイン協会・京都デザイン関連団体協議会
テーマ/「京のプロダクトデザインを考える」シンポジウム
〈1部〉a プロダクトデザインの歴史と現代プロダクトデザイン
b 京都プロダクト業界の現状
〈2部〉c 京都のプロダクト関連企業の先進的取組みについて
のパネルディスカッション

会期/2005年3月11日(金)
会場/ウイングス京都
参加者/33名

2005~2006

平成17年4月~18年3月 理事長 久谷政樹

■京(みやこ)のプロダクトデザイン振興戦略研究事業

京都市の京の伝統産業・元気応援事業認定
活動記録

[打合せ・研究会・シンポジウム]

2005年6月10日(金)~2006年3月17日(金) 計6回

[KYOTO STYLE事業企画参画]

2005年6月9日(木)~2006年2月15日(水) 計4回

[デザイン優品事業参画]

2005年9月29日(木)~2006年3月24日(金) 計6回

■室町プロジェクト

今期はヒアリングを主体として各社との事前会議を持ち、次年度にはプロジェクト構想概要書を完成

■KDA会員展

会期/2005年10月17日(月)~23日(日)
会場/新風館3Fトランスジャンル

テーマ/デザイナーがカメラで捉えた

「私の好きな京都・嫌いな京都」「京を観る」

平成16年度会員展作品秋田展

会期/2005年11月24日(木)~12月4日(日)

会場/アトリエももさだ・ギャラリー棟展示室

■KDAサロン

●第3回京都デザイナー交流会

日時/2005年10月23日(日)

第1部 パネルディスカッション

第2部 交流会パーティー

テーマ/「京都を観る」

参加者/47名

会場/新風館 3F イタリアンレストランZenetti

●第4回京都デザイナー交流会

日時/2006年2月18日(土)

会場/清水坂京料理「日月庵」

■ファッション京都推進協議会シンポジウム事業 参画

■京都伝統産業青年会とのコラボレーション

■近畿圏デザイン協会

◎神戸デザイナー協会NPO設立披露パーティー

日時/2005年12月3日(土)

会場/神戸市立こうべまちづくり会館

参加者/40名

◎神戸デザイン協会フォーラム開催

日時/2006年3月24日(金)

場所/神戸市勤労会館2階

■京都デザイン優品2006選定事業

主催/(社)京都デザイン協会

公募期間/2006年2月10日締め切り

審査日/2006年3月25日(土)

会場/京都市立芸術大学

応募数/115点(69社)

選定数/2点(20社)

■'06京都デザイン会議の開催

日時/2006年3月17日(金)

会場/京都西陣町家スタジオ大広間

テーマ/「プロダクトデザインの

現代の課題とその解決に向けて」

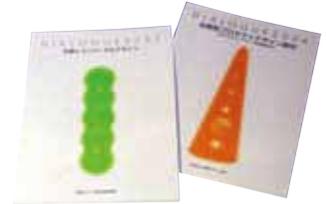


■'07京都デザイン会議の開催

日時/2006年10月23日(月)

会場/京都国際会館イベントホール

テーマ/「京都とユニバーサルデザイン」



■室町プロジェクト

17年に完成させた室町プロジェクト構想概要書の周知

■KDA会員展

会期/2006年11月20日(月)~24日(金)

会場/新風館3Fトランスジャンル

テーマ/デザイナーがカメラで捉えた「鴨川一景」

■KDAサロン

●第5回京都デザイナー交流会

日時/2006年8月26日(木)

参加者/45名

会場/リーガロイヤルホテル「桜の間」

●第6回京都デザイナー交流会

日時/2007年1月25日(木)

会場/ライブハウス「ケントス」

■KDAデザイン教室

■ファッション京都推進協議会シンポジウム事業 参画

■京都伝統産業青年会とのコラボレーション

■近畿圏デザイン協会

◎近畿デザイン協会協議会実行委員会

日時/2006年5月14日(日)

会場/奈良中央公民階

◎堺デザイン協会総会及び懇親会

日時/2006年6月3日(土)

場所/堺市百舌鳥「もず野」

◎近畿圏デザイン協会協議会実行委員会

日時/2006年6月25日(日)

場所/堀川中立売「千龍」

◎近ア協同発表会用冊子の編集、発行



2006~2007

平成18年4月~19年3月 理事長 久谷政樹

■京(みやこ)のプロダクトデザイン振興戦略研究事業

■京都デザイン優品展

主催/(社)京都デザイン協会

会期/2006年10月22日(日)~26日(水)

会場/国立京都国際会館

2007~2008

平成19年4月~20年3月 理事長 久谷政樹

■京都デザイン協会創立40周年記念事業実行委員会 設立 (2007年4月設立)

■創立40周年記念式典(11月13日)

会場/ホテルモントレ京都

■創立40周年記念誌出版(11月13日)

■創立40周年記念会員展(11月12日~18日)



KDA Vision

デザインのもてなし。 京都デザイン協会のこれから。

私ども(社)京都デザイン協会は、おかげさまでことし40周年という大きな節目を迎えました。設立から今日に至るまでの間、時代とともにデザイン界の様相は大きな変化が訪れました。経済的な状況変化はもとより、コンピュータやメディア技術などの急速な発達に伴い、すべてのデザインジャンルにも大きな揺さぶりが続いています。

それは表現の多様化という意味で、デザイン分野を拡大するというメリットがありましたが、一方でジャンルの細分化が進み、トータルなデザイン表現を試みるものが求められています。つまりディレクションやプロデュースもできるデザイナーが求められるようになりました。そのことによって、デザイン行為の社会的役割が拡大し、人びとのデザインへの期待も幅広く、大きなものになってきています。

そこで、上記のような今日的デザイナー像を意識して、今日までの協会のデザイナー集団としての社会的役割を踏まえ、今後の当協会のめざすべきビジョンを再構築し、新たなスタートを切りたいと考えます。

新たなビジョンに向けてのデザイナーのイメージ



デザイナーは、アーティストであると同時にプロデューサーでもある。

- 京都デザイン協会のデザイナーとしての役割の拡がりを求める。
- ジャンルの異なるデザイナーたちとの交流を深める。

デザイナーは、社会の文化の創造者であり、その運動家でもある。

- 社会的活動
デザイン環境を造りだす社会運動の必要性を積極的に促す。

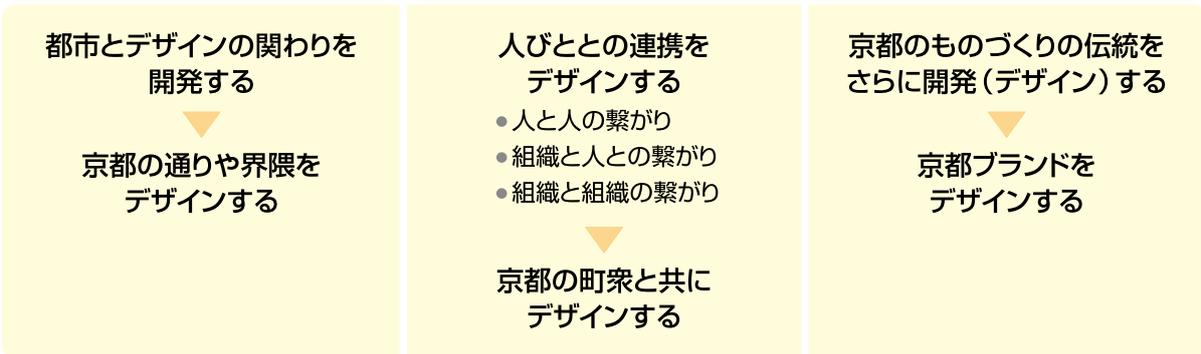
デザイナーは、学生であり、教育者でもある。

- 社会から学び、社会に還元する。
- デザイナーのための大学院大学の構想(教育の場)づくり。

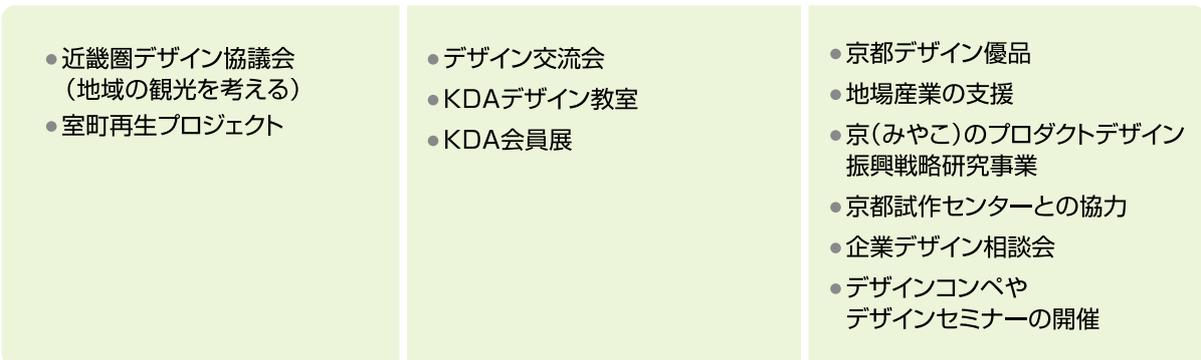
「京都をデザインする」



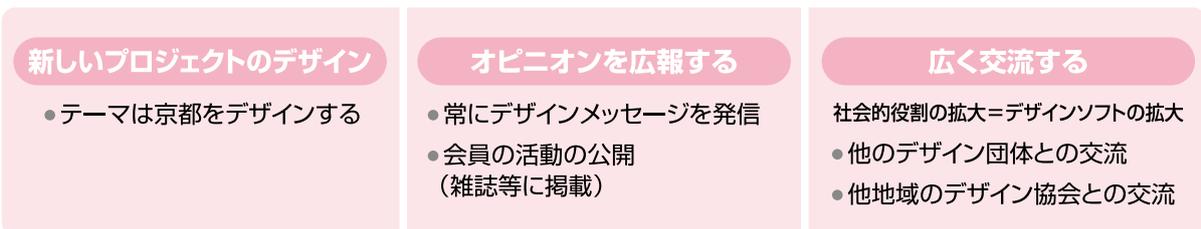
●めざすべきビジョン



●現在の活動



●今後の活動



●日本のデザインストックを生かす

歴史と文化を誇るここ京都には、財産ともいえる日本のデザインストックが豊富です。例えば、そこには日本の季節感や伝統、文化、風習、心遣い、癒し、ぬくもりなどがあります。それだけに、ただ眠らせておくのではなく、デジタルアーカイブによって、より身近なものに活用していきます。一人でも多くの人に喜びや感動を与え、最終的には地元の収益源にもつながっていくはず。日本のデザインを学ぶことは、そこにある先人たちの発想、ヒント、仕掛けなど、モノづくりの基礎を識ることになります。

●環境に配慮したデザインづくり

だれもが、地球環境を意識して生きる環境時代の到来を実感できるようになりました。けれど、まだまだエコロジーの意識は低いのが現状です。かつて「地球温暖化はテロより脅威」といった国防総省の環境広告がありました。それほど温暖化の問題は他人事ではなく、一人ひとりが取り組む重要な課題となってきました。私たちモノづくりに関わるデザイナーは、環境を意識したデザインを手がけ、エコ・ライフを提案するデザインを基本と考えます。



KDA Member's Work

Special member

安藤 藤子
尾崎 要
鎌田笑詩子
高井 一郎
富家 宏泰
西脇 友一
藤田 頼伯
本郷大田子
南澤 弘
宮川万樹夫



尾崎 要

Ozaki Kaname

インテリア・ファブリックスデザイン

(社)京都デザイン協会事務局へ
お問い合わせ下さい。

主な仕事

- 壁装
- カーテン
- カーペット
- 海外向けファニッシング

世界で活躍する 日本のテキスタイルデザイナー

戦後のテキスタイル（特にインテリア）の流れとして、いくつかの要素がありますが、まずひとつはヨーロッパの先進国の模倣から始まり、60年代～80年代高度経済成長期の日本独特のインテリアデザインが確立され、壁装に関しては日本でも襖のような伝統的な財産があり、現在の独自のインテリアが出来ています。現在ではドイツのハイム展、ベルギーのデコジット展、ニューヨークのサーテックス展などで多くの日本人デザイナーが活躍しているのを見ますと感慨深いものがあります。



1



2



3

- 1 真如苑 応現院 ご宝前 緞帳
- 2 真如苑 応現院 菩薩の間
十一面観世音菩薩様背景
- 3 K.K. リリカラ 壁面(ビニール) 店舗用



西脇 友一

Nishiwaki Tomokazu

大阪芸術大学名誉教授

NISHIWAKI VISUAL DESIGN LAB.
〒606-0026 京都市左京区岩倉長谷町8-2
Tel・Fax 075-724-6585
URL <http://www.kyoto-design.net>

主な仕事

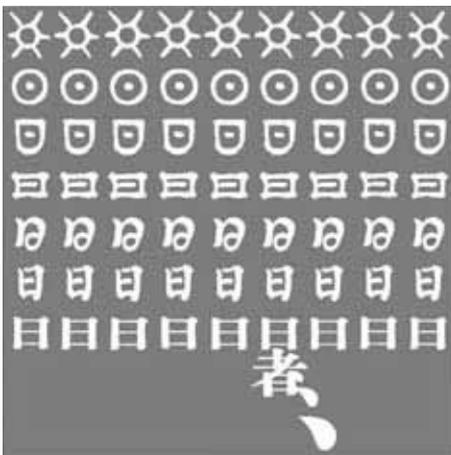
- グラフィックデザイン
- タイポグラフィックデザイン
- 公共・環境・スペースデザイン
- 名所・行事絵図のイラストレーション・出版
- 舞台美術・装置デザイン

読むための文字から[見る][感じる]という 和文独自の象形・表意性に焦点を絞り これに遊びごころもたせて制作したものが 絵本形式による[和文タイポグラフィの試み]

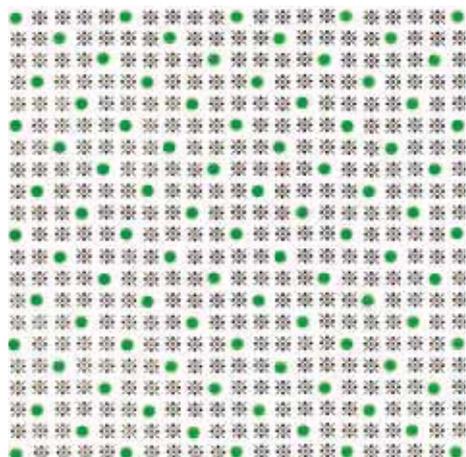
1960年、[世界デザイン会議]開催の期に各界を代表する偉大なデザイナーが多数く来日した。中でもJ・Mller-Brockmann(スイス)との会遇と以後に続く親交は自己デザイン活動に大きな意識改革をもたらせた。
[知]と[理]を骨格とした理念と表現は一分の隙もない清冽さゆえに魅了され、スイスグラフィック・タイポグラフィに傾倒してゆくことになる。
ただ、逆に日本語を軸とする我々にとって[和文タイポグラフィ]に奥深い愛情と研究を重ねる必要性についての意義に思い至り、象形文字・表意文字という特性をさらに見極めるべき責務を感じ、欧文の表音文字と対峙させる意味からもこれに[遊びごころ]を付加し効果を高めるべく制作したのがこの[試み]であった。(因みにKDA発足数年前の作である)



1



2



3

[和文タイポグラフィの試み]1962

- 1 表意文字としての漢字の変体文字と銅版画との組合せ[魚河岸]
- 2 文字のうづりかわり
古代絵文字から明朝体まで[暑中見舞状]
- 3 記号(約物)のみによる視覚的意味の表現
[豆ごはん]



藤田 頼伯

Fujita Raihaku

グラフィックデザイン

藤田頼伯デザイン研究室
〒600-8182
京都市下京区間之町五条下ル115
Tel & Fax 075-351-6381

主な仕事

●グラフィックデザイン

奈良文化財研究所
飛鳥資料館のポスター

飛鳥—「ころとかたち」

この作品集は奈良文化財研究所、飛鳥資料館特別展示<春・秋>の30年余りのポスター集です。

日本の首都であった飛鳥を訪れる古代ファンや、考古学に興味をもつ人たちに、展覧会の内容を的確に、親しみ易く、楽しく伝えることが、このポスターの大きな使命とえます。飛鳥の野山ののどかなたたずまい、遺跡や出土品が伝える古代人の息吹き、発掘調査や考証、研究に注がれる真摯なエネルギーが企画展の告知にとどまらず、飛鳥の「ころ」と「かたち」を伝えるものとなることを意図しました。

◎ポスターは1976年9月～2007年4月までに制作したものです。

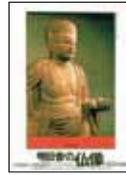
◎写真撮影 奈良文化財研究所 井上直夫



1976-9



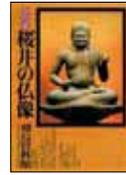
1977-9



1978-4



1978-9



1979-3



1979-9



1980-4



1980-10



1981-4



1981-10



1982-4



1982-10



1983-4



1983-10



1984-4



1984-10



1985-4



1985-10



1986-3



1986-10



1987-4



1987-10



1988-4



1988-10



1989-4



1989-10



1990-4



1990-10



1991-4



1991-10



1992-4



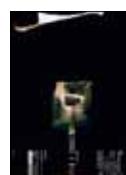
1992-10



1994-10



1995-3



1995-10



1996-4



1996-10



1997-4



1997-10



1998-4



1998-10



1999-4



1999-10



2000-4



2000-10



2001-5



2001-10



2002-4



2002-10



2003-4



2003-10



2004-4



2004-10



2005-4



2005-10



2006-4



2006-10



2007-4



1990 イメージポスター



1997 イメージポスター



本郷 大田子

Hongo Taidenshi

染色

〒603-8081

京都市北区上賀茂岡本町4(株)大田子

Tel 075-701-8357

Fax 075-722-5938

E-mail teidensi@ff.ij4u.or.jp

主な仕事

- 虹染
- 染色工芸
- きもの

色が彩を創る虹染の彩は 古くて新しい日本の心である

人が創りだすモノは、その人の歴史と切りはなせない。日本の染色デザインはこの国の気候風土と、人々の暮らしに合せ、さまざまな工夫がくり返された。さらに他国からの刺激、大陸中国から、近代は西欧からの文化刺激が丁度調味料や、ほどよい香辛料となって、日本独特の味になった。中でもその色彩感、他の国には見られないデリケートな色区分となり、日本の美意識の重要な要素となった。虹染は古くて新しい日本のデザインである。



- 1 連山朝ぼらけ
- 2 高山寺紅葉
- 3 富士の峰より
- 4 流水山風
- 5 春夏秋冬
- 6 風



南澤 弘

Minamizawa Hiroshi

工芸

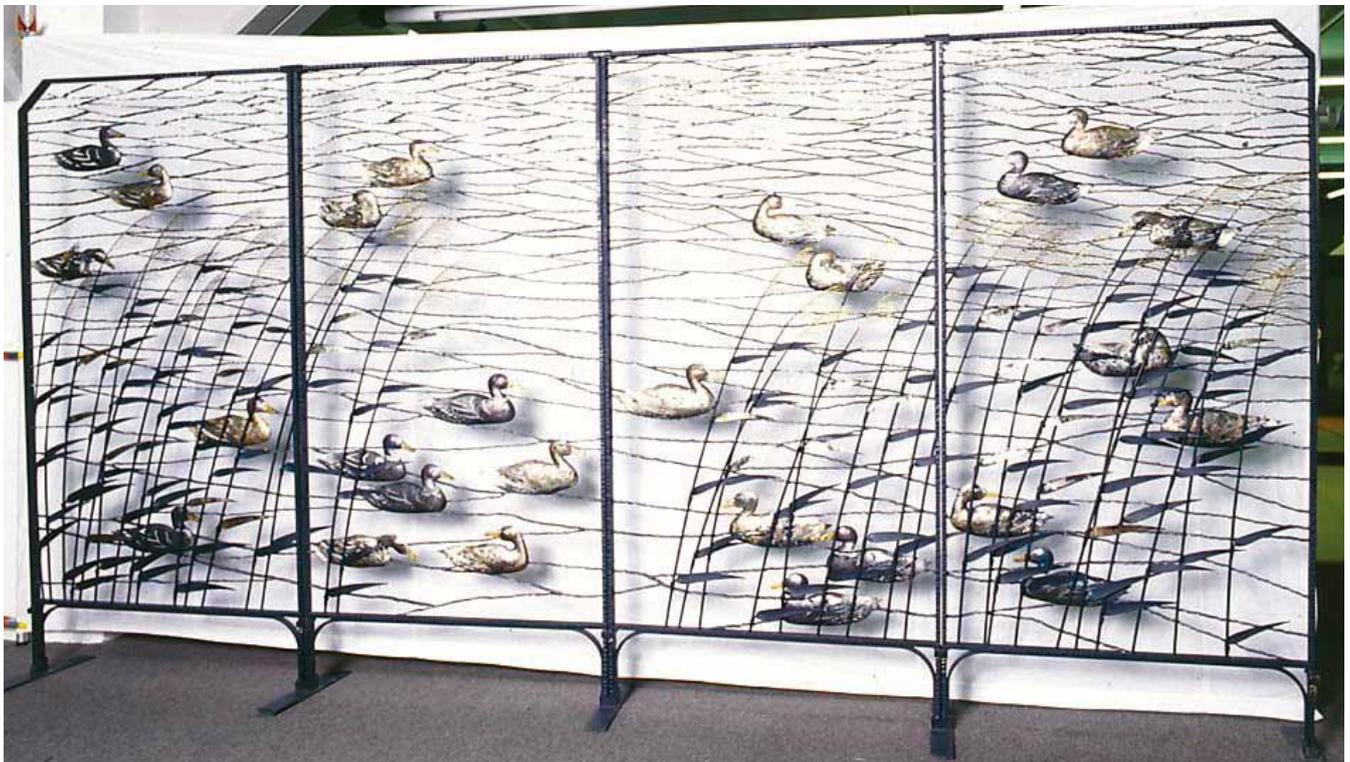
(社)京都デザイン協会事務局へお問い合わせください。

主な仕事

● 建築装飾

鉄で画を造る仕事 グローバル時代の京都の工芸

二次元の絵画やグラフィックと違って、フォルムや線が總て物理的構造を持たないと存在し得ないので、画と構造がセメギ合った結果として良いデザインが出来あがる楽しみがあります。造る物は門扉や階段、パテーションなどの建築の装飾に特化したエレメントです。この仕事のルーツは西欧ですが、日本の伝統工芸を受け継ぐ新しいシステムの工芸です。今年からニューヨークにギャラリーを開いて、常設でアピールしています。



1



2



3

1 "水辺の風景" ニューヨークのギャラリーショップに出展中

2 植物のモチーフによる住宅の透かし扉

3 鳥をテーマにした、レストランの入口の透かし扉、Rホテル(大阪)



KDA Member's Work

Regular member

阿部 洋平
井上 捷之
上田 年子
上原 公代
大石 義一
大入 達男
大野 好之
小川 長楽
小川 富男
小崎 幹太
川口 凱正
川村 和代
官能 右泰
熊谷 實
黒竹 節人
合田 浩樹
小山比奈子
才門 俊文
佐々浪昌夫
高濱 豊
竹林 善孝
田中 聡
樽家 紀治
辻中 進
辻 勇佑
土居 英夫
鳥山 生夫
中尾 博
永田 義博
名子 昇
奈良 磐雄
橋本 繁美
久谷 政樹
傅 巍
藤田 善規
藤原 義明
古川加津夫
松原 出
松原 醇子
元橋 一裕
森木 保彦
山岡 敏和
大和 文昭
吉田 治英



井上 捷之

Inoue Katsuyuki

テキスタイルインテリア

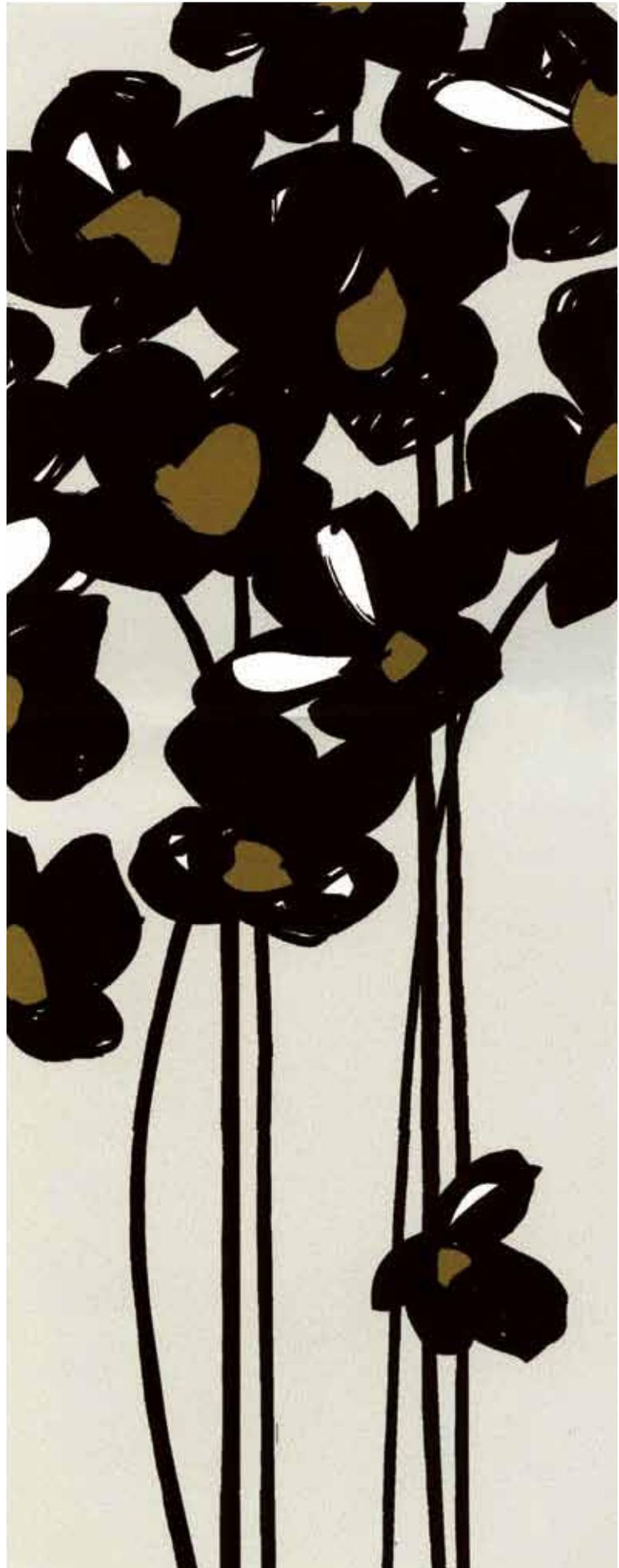
DESIGN SPACE KAZE 風
〒606-8305 京都市左京区吉田河原町14
マンハイム鴨川505
Tel・Fax 075-762-1678
E-mail kaze-inoue@md.newweb.ne.jp

主な仕事

ドイツ・ベルギー・イタリア・アメリカ
等で、インテリア用サーフェイスデザイン
を発表。メーカーを通じて、世界各国
に展開。

時をデザインする

伝えたいことがあるから 表現し、
伝えたい世界があるから デザインする。
アナログであれ デジタルであれ、
それぞれを 技法として
自分のものとする。こと。
いつだって NEXT STAGEに向かって
発言すること。いつだって自分の位置を
確認しつつ。



夏の花



上田 年子

Ueda Toshiko

ファッションデザイン

〒604-8004 京都市中京区三条通木屋町
東入ル中島町98(御所館ビル)
Tel 075-241-1831 Fax 075-223-2134

主な仕事

- 上田年子デザイン研究所 服飾デザイン指導
オートクチュール プレタポルテ受注
- 京都服飾デザイナー協会会員 名誉理事長
- 茶道指導(宗年)淡永会所属
月釜含翠会 泉涌寺大石内蔵助茶室 来迎院

伝統歴史から溢れる感性と技術^{わざ} 新しい京都デザイン発信を!

ファッション、服装の流れは時代の歴史を作り文化を表現します。戦後60年、過去につちかわれた礼儀、道徳は失われ、人のみが作り得る衣、食、住の文化はお粗末の汨乱となり、着ればよい、食べれば、住めば安ければと智も美も失った悲しい現実、しかしやがてはあきて感性豊かな心あたたまるを求める時代となりましょう。物創りは楽しい苦勞の生涯です。芸術文化の奥深い宝庫を人に、物に、今なお多く持つ京都より、新しいデザインを発信しましょう。



1



2



3



4



5

- 1 愛 火の鳥 ストラピンスキー“火の鳥”のイメージ
大きくゆれるジョーゼット
- 2 “時”のうつろいを見つめて—リズムに生きる
- 3 オペラで描くファッション—ラヴ シンフォニー
ファッションカンタータ from KYOTO 雛形あきこ
- 4 愛 小夜曲 黒のシルクスーツ 胡蝶蘭を覗かせて
- 5 風と綴るよそおいのメロディ



上原 公代

Uehara Kimiyo

空間ディスプレイ・服飾デザイン

(社)京都デザイン協会事務局へお問い合わせください。

主な仕事

- 空間ディスプレイ
(イベント、ハウスコーディネート:展示会)
- 服飾デザイン
(企画、デザイン、製作、ブランドの発進)
- 教育・講習

歴史ある佳き物を 新しい感覚で京の空間に生かしたい

デザインの世界に於ても、近年急に時代の進化、生活形態の変化により画一化され、より速く、より過激にと言う傾向が強い様に思います。そんな中で「京都人」として京都文化の心を大切に「らしい」(京都人らしい)(私らしい)企画、デザインを心掛けています。又古き物を新しい中へ、新しき物を歴史ある空間の中へ持ち込み、すこしずつでも、人間本来の「心ある」空間を創造し、デザイン製作して行きたいと希っています。



1



2



4



5



3

- 1 素材展ステージ
2 宝飾、メガネ店ウィンドー
3 4 5 テキスタイル社の展示会



大石 義一

Oishi Yoshikazu

建築

ARCHIT-LINE Design Office
〒606-8272 京都市左京区北白川山田町31-4
Tel 075-791-6239
E-mail office@archit-line.com

主な仕事

●建築デザイン ●インテリアデザイン

京都の建築空間への 目覚めと望み

人の行動には動機があります。
その動機は人の思い（こころ）に委ねられているようです。そのところが活発になるのは、未来か、もしくは過去のことを思う時です。人は過ぎ去った世界の記憶とこれから先の世界の畏敬の念から、今という世界を生きているのです。

建築空間は人びとの記憶を覚醒させる装置とも思っています。

また、未来への恐れと願いを想像させる装置でもあると。

という意味では、京都の街の佇まいや建築は深い記憶を鮮明に目覚めさせます。同時に未来の建築への高い望みを触発します。

それが建築計画への強い動機となって、人々が願いや祈りを込めて今を生きていくための空間づくりに繋がるものと思います。



1



2



3



4

- 1 京都医療福祉専門学校(京都・宇治)
- 2 Re-1st(京都・洛西)
- 3 福田邸(岐阜・関)
- 4 森邸(北海道・ニセコ)



大入 達男

Ooiri Tatsuo

経師

Ooiri CO.LTD

〒604-0061 京都市中京区小川通り二条上ル
槌屋町611

Tel 075-212-0248 Fax 075-212-0282

URL <http://www.ooiri-co.com>

E-mail kyojiooiri@muc.biglobe.ne.jp

主な仕事

● 経師・伝統工芸プロデューサー

平成の経師

1951年生まれ。幼少より先代 父・大入百太郎の背中を見て育つ。先人達の築き上げてきた文化遺産を守らなければいけないと、かたい決意を持って奥深い経師の道へ。歴史的な文化財を伝統技術と現代の技術によるコラボレーションによって、京の伝統文化を後世に伝える、アーカイブアートプロジェクトに参加、トータルプロデュースを手がける。国際的な視野のもと日本文化への貢献を目指し、日本の和・伝統文化をつないでいくため精力的に活動する。



1



2



3

- 1 修復された書物と巻物
- 2 文化財の修復作業風景
- 3 尾形光琳筆 風神雷神図
アーカイブアート



大野好之

Ohno Yoshiyuki

グラフィックデザイン

GOODMAN INC.

〒604-0882 京都市中京区高倉通夷川上ル
福屋町735-1

Tel 075-255-1078

URL <http://www.uragu.com>

E-mail goodman@miracle.ocn.ne.jp

主な仕事

● 広告企画制作 ● プロダクツ開発・販売

オリジナルの デザイン

グラフィックデザインの世界は今、デザインテクノロジーがビジネス的価値を失い、良くも悪くもエンタテインメントの領域で評価されています。そこには情報の貼り付け合戦が多く、情報をオリジナルにデザインする行為がないまま排出され廃棄されます。

今、歴史や文化を継承することも大切ですが、過去を見直し新しい「オリジナルのデザイン」を提案することが大切です。





小川 長楽

Ogawa Choraku

工芸

〒607-8322

京都市山科区川田清水焼団地町4-7

Tel 075-581-0425

主な仕事

- 陶芸
- 楽焼

精神性と実用性

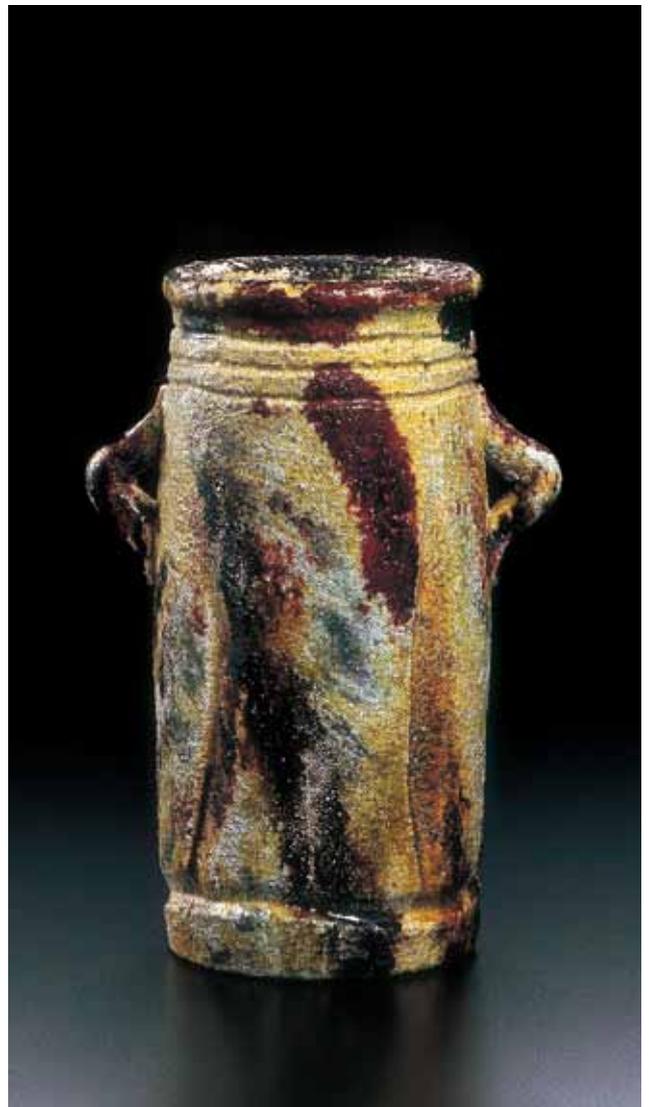
茶の湯の道具は、うまく点てられたらいいのではなく、用途に適した調和が必要だ。茶席の内外の要素を含む背景のもと、亭主と客が一体となって展開するドラマだけに、総合的に調和がとれ、その要望にも応えられるものが基本である。精神性と実用性を兼ね備えた、茶のために生まれた茶盃。使い手と造り手の情報交換と、心の交流が茶の湯道具の真髄ではないだろうか。近年、私は和歌に題材を求めて作品造りをするなかで、伝統の楽焼に独自の造形の世界を拓かんと、創作を続けている。



1



2



3

- 1 炫耀黒茶盃 銘「時雨」
- 2 緑華釉飾鉢 銘「松露」
- 3 焼貫釉彩花入 銘「萩錦」



小川 富男

Ogawa Tomio

テキスタイルデザイン

〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町36-62

主な仕事

- テキスタイルデザイン
- イラスト／鉄道に関するもの

京都のテキスタイル作家は 新しい文化の構築をする

テキスタイルの歴史は古代から永い。
それは生活の知恵であった、戦後50年
テキスタイルは、この時代の文化となりえ
たのか

近年素材の生産は東南アジア各国から物
量共に増す時代にあって、1990年代新し
いデジタルは繊維の組織と編物を開発し
て我国の地方の一部では若い作家達が世
界のコレクションで注目されている。
京都のテキスタイル作家はこれからの半世
紀、新しい文化を構築出来るだろうか…



明への道

小崎 幹太

Ozaki Kanta

光

(社)京都デザイン協会事務局へお問い合わせください。

主な仕事

- 照明プロデュース
- 照明コンサルティング
- 新商品企画開発

光で新しい空間をプロデュースします

光りは、日進月歩 松明の荒々しい明かりから始まり最近
はLEDの急速な開発に導かれ発達し続けています。今日の
私たちの生活にはなくてはならないMONOにもなりました。
これからは、光りそのMONOのデザインがもっと重要にな
ってくるのではないかと考えています。光りを作るEnergie
をEcologicalにし環境にも優しく、人にも優しい、デザイン
力の有る光りを創り続けていきたいです。



1



2



3

- 1 光ファイバー-星空天井 LED光源
- 2 光のアーチ
- 3 PHILKNOT マドンナ



川口 凱正

Kawaguchi Gaisei

イラストレーション

〒616-8423 京都府京都市右京区
嵯峨釈迦堂門前裏柳町35-4
Tel・Fax 075-882-0393
E-mail kawaguchi@kyoto-design.net

主な仕事

- グラフィックデザイン
- イラストレーション

嵯峨野に暮らす自由人

京都嵯峨芸術大学を引退後、嵯峨野に暮らす自由人です。
朝には霞に煙る嵐山、昼には有栖の川のせせらぎを、夕には愛宕の風を感じながら創作三昧の毎日を送っています。
主に、学校や病院、寺院からの依頼の作品を、ビジネスにこだわらず自然体で制作しています。



1



2



3

- 1 京都市立朱雀第一小学校
創立百周年記念作品(講堂)
- 2 3 京都市立朱雀第一小学校
創立百周年記念作品(図書コーナー)



川村 和代

Kawamura Kazuyo

染色

〒601-0261 京都市右京区京北柏原町ハブ23
Tel・Fax 0771-52-0558

主な仕事

- 藍染
- 服飾デザイン・パターン

藍の魅力を京都から

ピュアなブルーの魅力にとりつかれ、この京北の杉木立の中に居を移し、由良川流域の藍が京都府で最後の藍となって、1925年に姿を消し、その後復活をかけ成功させた塩見先生に手解きを受け、種をいただき栽培「すくも」作り、科学薬品を使用せず「すくも発酵建て」（アルカリ性の液の中で「すくも」の中の微生物の働きによってインジコを還元させて染める）による染色方法をしています。今は独特の漢字篆書を色々な手法（特に手描き）で表現したペストリーのれんその他製品を創っています。藍の産地も徳島・西脇・沖縄・北海道・中国その他多山ありますが、京都の藍も中々よいブルーと自負しています。藍は不思議な生きもの、ご機嫌伺いしながら、こだわりの京都産を創り続けていきたいと思っています。



1



2



3

- 1 2 藍染魅力のひとつグラデーションを板締めで
3 甲骨文「犬」糊置



官能 右泰

Kannou Sukeyasu

グラフィックデザイン

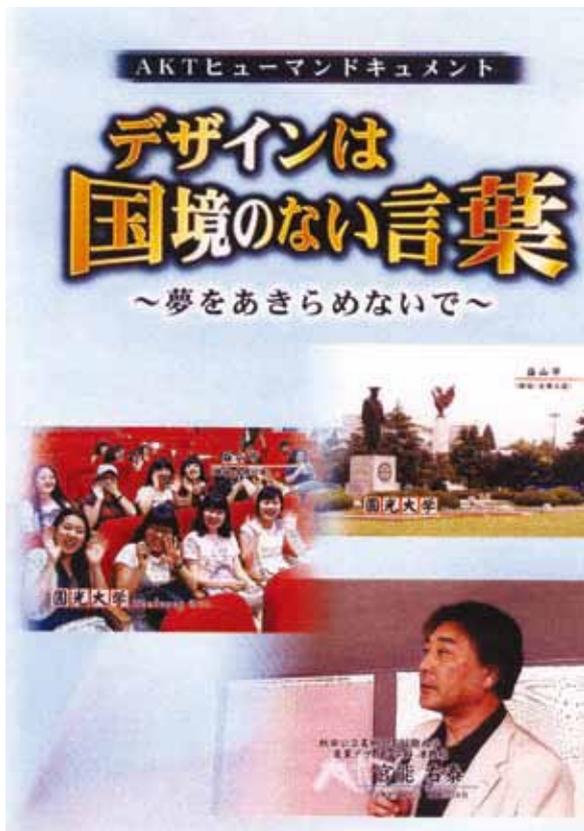
〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3
Tel 018-888-8135
Fax 018-888-8109
URL <http://www.amcac.ac.jp>
E-mail kannou@amcac.ac.jp

主な仕事

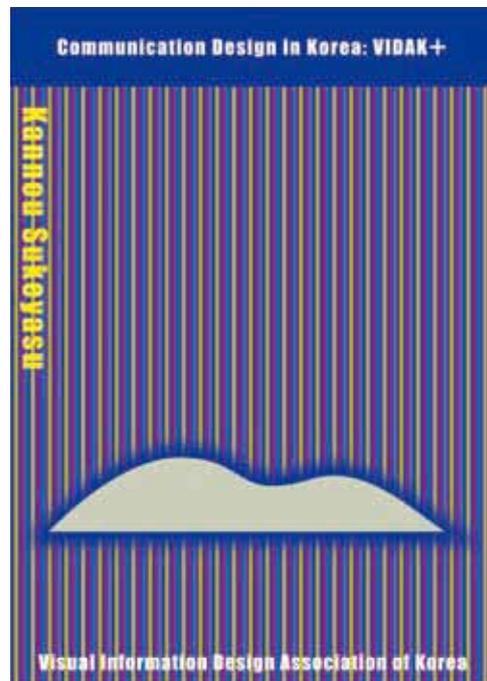
- 公共デザイン ● キャラクターデザイン
- ブランディングデザイン

エネルギー韓国から KYOTOを再発見!

今や東アジアは世界のグラフィックデザインをリードする。特に韓国はアジアのハブとして、全世界に情報発信する。国策として育成されてきた韓国のデザイン産業は、輸出産業の一翼を担う様になり、今もっともエネルギーに進化する。その根底には地域の伝統文化と現代感覚のデザインとの調和がある。国際都市京都、地域都市としての京都、何か共通点があるのでは…。そこから、エネルギーなKYOTOが発見できるのではないか…。



1



3



4



男鹿水族館 GAO

2



5

- 1 AKT秋田テレビビューマンドキュメント
「デザインは国境のない言葉」主演／官能右泰
- 2 水族館のロゴタイプ「男鹿水族館（秋田県）」
- 3 デザイン団体のポスター「VIDAK+（韓国）」
- 4 和装ブランドのロゴタイプ「araiso（京都市）」
- 5 納税キャラクター「税キッズ（秋田市）」



熊谷 實

Kumagai Minoru

テキスタイル・アート・デザイン

〒603-8212 京都市北区紫野石竜町45-1

Tel 075-495-3056

Fax 075-495-3091

URL <http://www.cosmo-kumagai.co.jp>

E-mail ds@cosmo-kumagai.co.jp

主な仕事

- 意匠アート・デザイン
- テキスタイル・デザイン(図案)
- インテリアアート

1 「宙」(’07 京都市長作品)

2 「水」(’03 経済産業大臣賞作品)

3 「地」(’04 文部科学大臣賞作品)

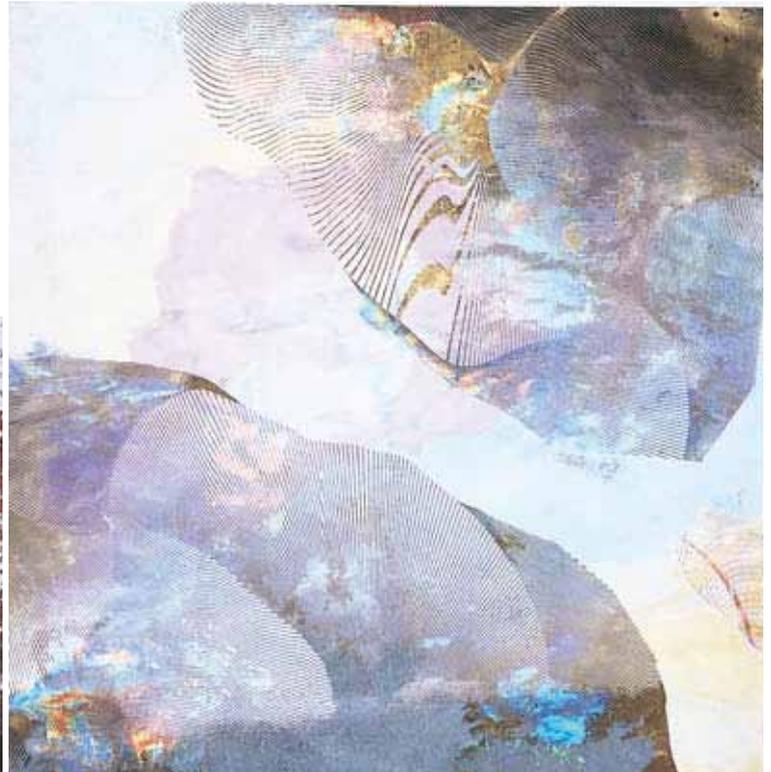
4 「天竜寺夢想能衣装」

人々にアートで幸せな美の追求

これまで幾世代にも渡って育まれ積み重ねられて来た日本の意匠 伝統 心の伝承を鋭く斬新な感性でとらえ次世代に向かっての楽しみと喜びを増幅させ今までの“衣遊感”“食感触”“住空間”のデザイン創りの中をより広く深くよりグローバルなアートの美の追求、人々の幸せ作りのアートの追求に専念いたします。



1



2



3



4



黒竹 節人

Kurotake Sadato

伝統意匠プロデューサー

株式会社くろちく

〒604-8214 京都市中京区新町通錦小路上ル
百足町380

Tel 075-256-9393

URL <http://www.kurochiku.co.jp/>

主な仕事

- 建築プロデューサー
- 和雑貨製造販売

文化再生・文化継承

文化は、無形と有形の相互交流により発展してきたものであり、先人達の知恵と工夫によって受け継がれた伝統であると考えます。

近年、伝統文化は自分たちの日常とは別にあるといった意識が広がりつつあります。文化を継承していく為には、次の時代に受け入れられ人々の日常の中に存在することが重要です。伝統に価値を見出し現代の生活に織り交ぜ、新たな価値観を生み出せる使い手と創り手の感性を次の時代に託し継ぐことが必要と考えます。



7



8



9

- 1 京おぼんざい「百足屋」
- 2 還暦祝賀能「船弁慶」於:金剛能楽堂
- 3 くろちくプライダル
- 4 上七軒「くろすけ」
- 5 おしゃれ手拭いたおる
- 6 木目込人形「花嫁さん」
- 7 よみがえる京町家
発行所:光村推古書院株式会社
- 8 古伊万里ボンチャイナ
- 9 網代バック



合田 浩樹

Gohda Hiroki

クラフト&デザイン

森の工房inwood (有)G-styling
〒601-0125 京都市北区中川川登46-1
Tel 075-406-4123
URL <http://www15.ocn.ne.jp/~inwood/>
inwood@eos.ocn.ne.jp

主な仕事
無垢板クラフトショップ「森の工房inwood」経営



やさしく、楽しいデザインを 心がけています。

電子メディアの発達によって、日本国内はもちろん世界はずいぶん身近になりました。その分それぞれの地方がもっていた言葉や独自の文化が均一化し個性がなくなりつつあります。日本文化の中心である京都でさえ急速に東京化が進み、日本文化の「代表選手」は怪しくなってきました。このような時代だけに、かなや漢字、伝統文様など日本のデザインを大事にしたいと思っています。

電子メディアの発達によって、日本国内はもちろん世界はずいぶん身近になりました。その分それぞれの地方がもっていた言葉や独自の文化が均一化し個性がなくなりつつあります。日本文化の中心である京都でさえ急速に東京化が進み、日本文化の「代表選手」は怪しくなってきました。このような時代だけに、かなや漢字、伝統文様など日本のデザインを大事にしたいと思っています。



- 1 nanbanタンス
- 2 wn2350
- 3 3Psof.



小山 比奈子

Koyama Hinako

グラフィックデザイン

株式会社PHPエディターズ・グループ
〒601-8411 京都市南区西九条北ノ内町11
PHP研究所内
Tel 075-662-1319 Fax 075-662-1348
E-mail koyama@peg.co.jp

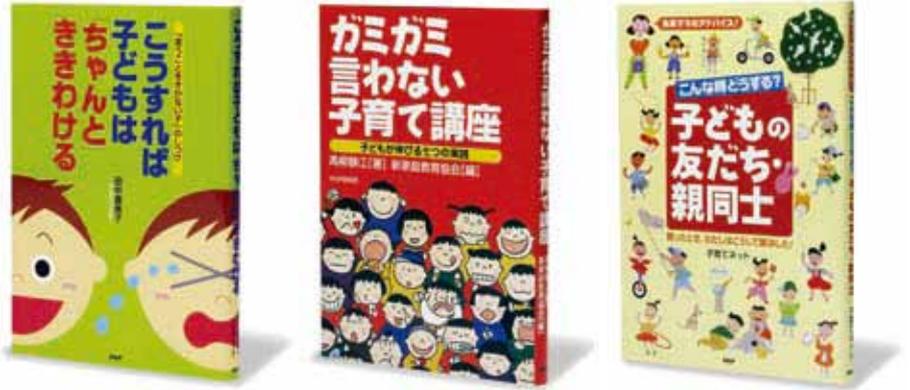
主な仕事

- グラフィックデザイン
- ブックデザイン

共感するデザイン

デジタルにすっかり呑み込まれてしまった昨今、機械的で無機質な表現を感じるようになり、見た目の美しさやデザイン性ばかりを追い求め、編集者や読者の立場でモノを見るということに欠けていることに気付かされることがあります。

作られた商品は、誰かだけのモノではなく、制作に携わった仲間、そして、お客様も含めたみんなのモノであるということを常に念頭におき、全体を鳥瞰図で見て、感じ、考えることこそが、納得のいく良いものづくりへと導く“成功への指針”になると考え、共感するデザイン〈共に考え・共に学び・共に作り・共に喜び〉をコンセプトにもものづくりに取り組んでいます。



1



2



3

- 1 PHP研究所発刊書籍装幀
- 2 HONDA 販促物
That'sベークラフト
- 3 KDA室町プロジェクト ロゴマーク



才門 俊文

Saimon Toshifumi

建築家

才門俊文建築設計事務所
Toshifumi Saimon Architect
〒616-8416 京都市右京区嵯峨大覚寺
門前井頭町12-42
Tel・Fax 075-864-0772
E-mail t-saimon@wave.plala.or.jp

主な仕事

- 茶室・数奇屋建築設計
- 社寺建築設計 ●住宅・店舗設計

京都からの発信 「伝統を踏まえた 新しい豊かな暮らし」

現代では、技術の発達により構造、意匠、設備の分野において、一昔前では実現できなかったことが可能となりました。しかし果たして人々の生活は昔と比べて豊かになったのでしょうか？

そもそも豊かな暮らしとは、どのようなものなのでしょうか？

それを考えるヒントが「日本の伝統、京都らしさ」にあると思います。

私は豊かな暮らしとは、人間が本来持っている五つの感覚（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）を十分に使える生活ではないかと思います。

そして京都の伝統的な住まいにはまさにそれがあると感じております。

これからの建築を考えると、日本の伝統建築が培ってきたすばらしい技術、意匠の表面だけを捉えてコピーするのではなく、それらを生み出した文化、風習にまで掘り下げて見直し、尊重し、現代の生活に合わせて役立てていくことが大切です。

私はそれを、ここ京都から世界に向けて発信していきたいと思っています。



1



2



3



4



5



6

- 1 Santa Maria Novella(Kyoto)
- 2 Santa Maria Novella(Kyoto)
- 3 文珠荘特別室テラス
- 4 文珠荘特別室リビングルーム
- 5 丹後の湯宿 ぬびすや 渡り廊下
- 6 丹後の湯宿 ぬびすや 大正館ロビー



高濱 豊

Takahama Yutaka

グラフィックデザイン

高濱制作室

〒530-0036 大阪市北区与力町7-11-606

Tel 06-6352-7253 Fax 06-6352-7254

URL <http://www.ne.jp/asahi/takahama/yutaka/>

e-mail takahama@mbox.kyoto-inet.or.jp

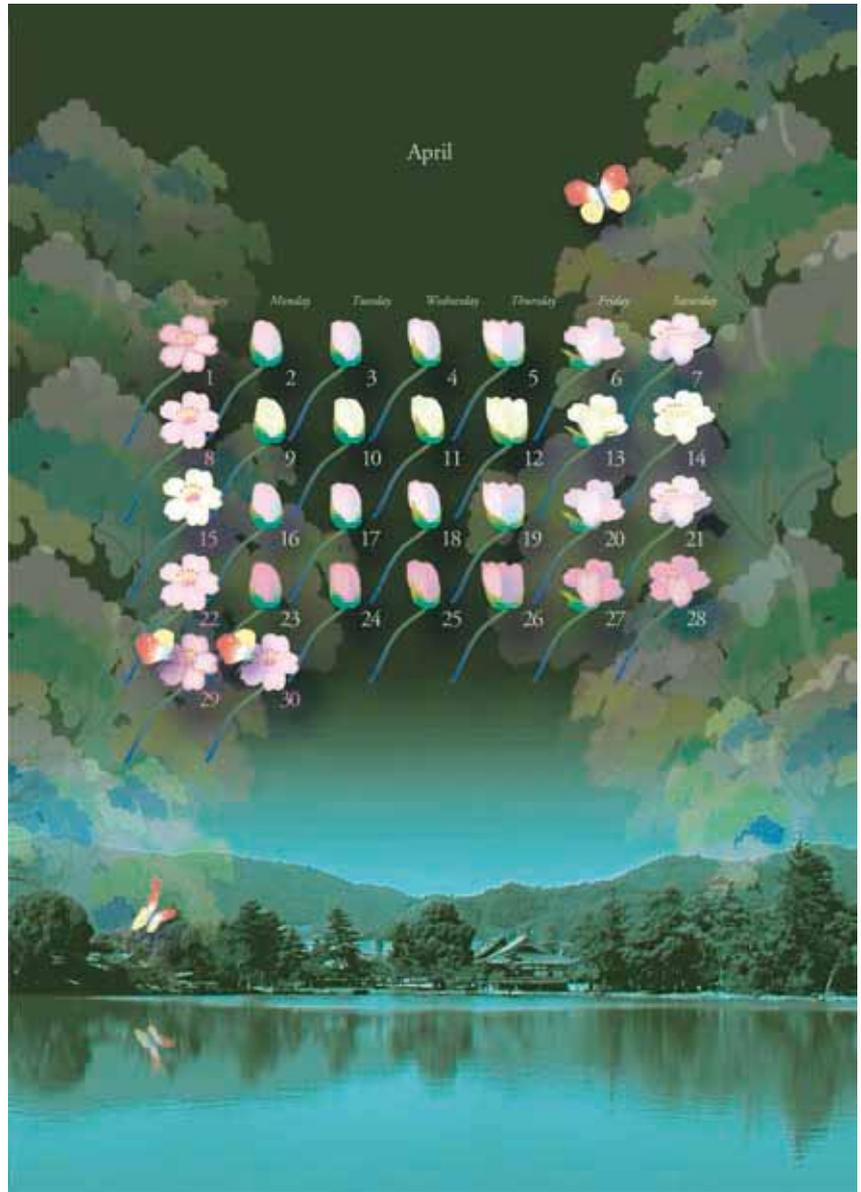
主な仕事

- 広告制作・アートディレクション
- 京都嵯峨芸術大学短期大学部教員

肉体と精神に こちよいデザイン表現

KDAが設立された1967年は、ちょうどボクらがデザインを志しはじめた頃で、ポップカルチャーや学生運動の熱い時代であった。日宣美が学生運動の煽りを受けて解散したのもこの頃で、京都が学生やクリエイターの多い自由な活動拠点として、日本のサンフランシスコといわれていた。当時のヒッピーたちが提唱したフラワームーブメントの精神は、京大西部講堂や円山野外音楽堂でのロックコンサート、ミュージカル「ヘアー」の上演などで花開き、京都が最も元気だった時代かもしれない。

みんな、この頃の連中もいい年になってきて、若いときにはやや重く感じられた京都の伝統や学芸、文化も、自然に理解できる年頃になっている。あらためて、肉体、プラス精神に、こちよいデザイン表現を表面上の"癒し"だけでなく、この熱い精神世界を共感できる"大人のカルチャー"として発信していきたい。



1 カレンダー花の寺(大覚寺ギャラリー)

2 3 イラストレーション「ギター・ゴヴァインダ」より
(嵯峨芸術大チャリティショー)



竹林 善孝

Takebayashi Yoshitaka

プロダクトデザイン

竹林デザイン室

〒603-1253

京都市左京区八瀬近衛町723

Tel 075-721-6838

E-mail:ytake@circus.ocn.ne.jp

主な仕事

- プロダクトデザイン
- グラフィックデザイン

京都からデザインは見えるか

近年、多くのメディアのステレオグラフィ的京都論が多くなり、暮らしの行動全体が安易なカルチャー化へと流れていっている。職人的ものづくりが成熟・完成している京都でも、売れるものづくり至上主義という近代生産の意識構造がそうさせているのかもしれない。本来京都商品はそんなものではない。その日作ってその日に売りきってしまうという京都方式は、実は絶対的な自信と、品質の信頼を裏切らないという客の立場に立った考えであった。デザインの現場でもそういった思想の流れの中で創造されてきた。未来を見据えた卓越したこのデザインの思いに立つことで見えるものがあると思う。



4

5

6

7

- 1 なにわ自転車道サイン計画
- 2 coop化粧品 フリーリア
- 3 三洋電機 電池パッケージ
- 4 グリーンマップ パンフレット
- 5 SEIREN 製品パンフレット
- 6 Kanebo Shahpray
- 7 サンスター フロスボックス



田中 聡

Tanaka Satoshi

グラフィックデザイン

E-mail tsdesign@m4.dion.ne.jp

主な仕事

- グラフィックデザイン全般
- ブックデザイン

『日本デザイン』を京都から世界へ

メディアの発達によって、日本国内はもちろん世界はずいぶん身近になりました。その分それぞれの国や地方がもっていた言葉や独自の文化が均一化し個性がなくなりつつあります。どこにでもある文化より一つひとつの地方に根ざす文化のほうが味があると思います。この小さな島国が育てた、かなや、伝統文様など日本のデザインを大事にしたいと思っています。



1 ~ 4 ニューズレター・フロネーシス(京都橘大学)

5 装丁(平楽寺書店)

6 7 展示会案内状のためのイメージ(株式会社京都西川)



樽家紀治

Taruya Toshiharu

着物デザインと制作

〒604-8336 京都市中京区大宮通三条下ル
Tel 075-821-1280

主な仕事

- 創作者物

輝しく生きる女性達へ 「今に生きる着物」を届けたい

伝統・京都

着物は日本の美しい文化。

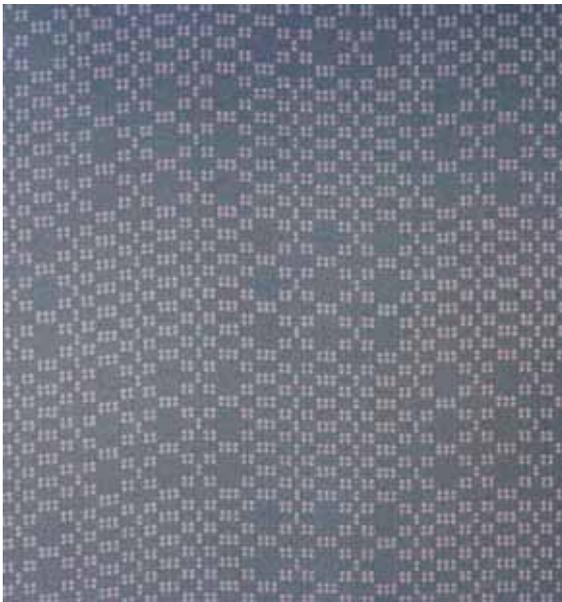
簡素でいて、表現豊か。着る人の内面を映し、職人の心意気を表す、織り機音が響く京都上京区西陣に生まれ、染の町中京で育った自分。工芸・美術に携わる人間の密度が濃いこの地域には伝統的に日本の美、ものづくりの姿勢が生活の中に溶け込んでいる。その中で職人の感性と気質、創造するよろこびを身につけていったと思う。新しい時代を積極的に受け入れ更なる美を求めて洗練された「今に生きる着物」を作り続けたいと思う。



1



2



3



4

- 1 作品 1
- 2 作品 2
- 3 作品 3
- 4 作品 4



辻中 進

Tsujinaka Susumu

グラフィックデザイン

(社) 京都デザイン協会事務局へお問い合わせください。

主な仕事

- ビジュアルデザイン ●広告デザイン
- 絵画・版画

古来より育んできた日本の文化から 表現の礎を学ぶ

私の表現領域は、仕事としてのビジュアルコミュニケーションでのデザイン分野と、絵画や版画における美術表現分野に大別することができます。デザイン分野では「明確な情報伝達とその表現」についてを常に追求していますが「表現における品位」についても欠くことのできないテーマとなっています。日本の多くの文化が息づく京都と関わるなかで、文化となり得た仕組みや作法、思想などからその極みを探り、私の表現領域へも生かせればと思います。



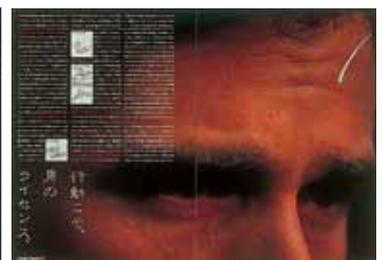
1



2



3



- 1 ドローイング+シルクスクリーン作品
- 2 ふりそでカタログ/三松
- 3 メンズウォッチカタログ/SEIKO



辻 勇佑

Tsuji Yusuke

グラフィックデザイン

辻勇佑デザイン室

〒612-0088 京都市伏見区深草出羽屋敷町23

ファミリー伏見A403

Tel 075-641-0351

E-mail tsuji-y@r8.dion.ne.jp

京都嵯峨芸術大学芸術学部

観光デザイン学科ビジュアルデザイン研究室

主な仕事

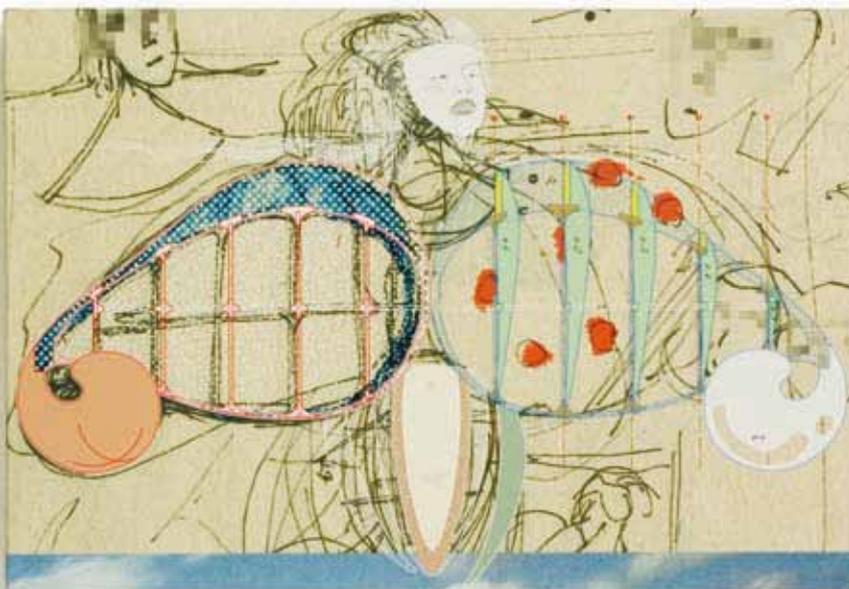
- ビジュアルコミュニケーション

ビジュアルコミュニケーションの 多様な展開

まわりを見渡してみると、私の前には液晶モニターがあり、その横にはデジカメや雑誌、書類などが乱雑に置いてある。また、左を向くと書籍が整然とならんでいて、端に置いてあるオーディオ機器のデジタル表示が目につく。窓を開けるとマンションの別の棟があり、細かく区切られた各々のバルコニーがあり、その奥には知らない部屋が広がる。日々作業する場所での観察である。しかし、実は液晶モニターは、正面からしか見ていないのでどんな立体物なのかは見えていないし、その横のデジカメは、今までに使った経験をもとにそれと判別した。書籍と知っている物は、実は、全て東見本で中身が白い紙なのかもしれない。見ることは、過去の経験、記憶を伴っている。書籍は各々中身を知っているから、それを含めて見ているのである。そこに見るといふ行為の曖昧さがあるのだろう。表面的な客観情報だけで判断されていない。そのことは、経験や記憶の違いによって見え方も変わるということであり、人によって「見る」ということは違うということである。視覚による情報の伝達を目指している私にとっては、曖昧さとその曖昧さからくる多様性というものを重要な要素として創造しなければならないと思う。



1



2



3

1 上昇気流が感じること“Package” 2007年制作

2 飛ぶことを考える“螺旋” 2003年制作

3 上昇気流が感じること“種子” 2001年制作



土居 英夫

Doi Hideo

建築家

ディー・アーキテクト

〒602-8374 京都市上京区一条通御前西入ル
二丁目下ル西町125

Tel 075-464-0035

URL <http://www6.ocn.ne.jp/~d-archi/>

E-mail darchi@silver.ocn.ne.jp

主な仕事

- 建築に関する計画・設計および監理

現代建築における日本的空間を創造すること

現代建築は、その殆どがモダニズムの影響を強く受けています。しかし我々は、それまで培われてきた日本における伝統文化やその空間を大切に、それらをモダニズムと融合させることによって、新たな日本的空間を創造したいと考えています。



1



2



3



4



5

- 1 宇治の家／ファサード
- 2 宇治の家／エントランスホール
- 3 宇治の家／2階廊下
- 4 水陣亭／ファサード
- 5 水陣亭／水庭



鳥山 生夫

Toriyama Ikuo

フォトグラファー

トリヤマ フォト スタジオ

〒607-8187 京都市山科区大宅石郡町120

Tel 075-573-2127

Fax 075-571-5939

URL <http://www10.ocn.ne.jp/~toriyama/index.html>

E-mail toriyama_photo@mac.com

主な仕事

- コマーシャルフォト
- ポートフォリオ

一瞬にこだわりたい!

アナログからデジタルへと変化し始めて10数年経過するにつれ、感情が希薄になりつつある事が多く、自分なりのテーマとして心がこもり、愛情あふれる感情を一瞬の時に表現できる様に努めて行こうと心がけております。

好奇心と行動力、発見などが「見る人に感動や心に響く作品作り」と思っております。

これからも、納得のいく作品作りが出来る様に、日々努力を忘れない様に自問自答しながらシャッターを切る。



1



2



3

- 1 作品
- 2 JRポスター
- 3 作品



永田 義博

Nagata Yoshihiro

グラフィックデザイン

株式会社 日商社
〒604-8187 京都市中京区烏丸御池東入ル
第一生命ビル7F
E-mail nagata@nisshosha.co.jp

主な仕事

- アドバイジングデザイン
- グラフィックデザイン

「なが——い、おつきあい。」

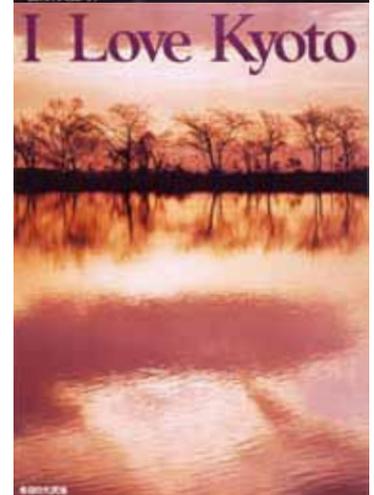
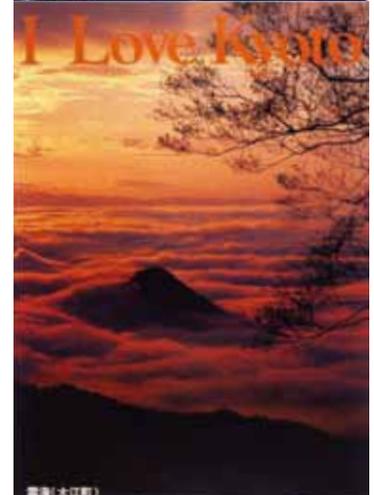
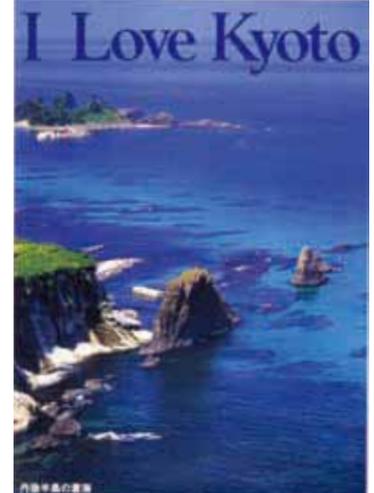
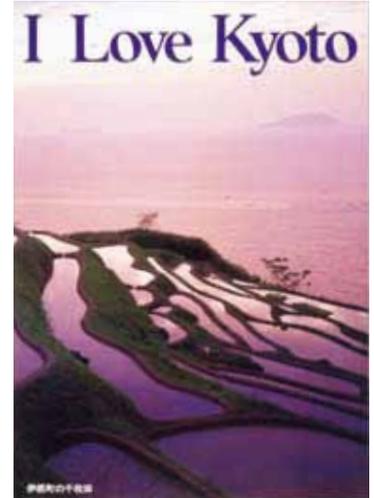
1982年(昭和57年)に始まった「I LOVE KYOTO」キャンペーン。現在23年目に突入しています。

アドバイジングの仕事をしていてこれ程長きにわたるキャンペーンは他には経験していません。

京都を代表する広報活動として広く定着しています。

決して「I LOVE N.Y.」の亜流ではなく地域に根ざした広報キャンペーンだと確信しています。

まさに京都ブランドの基本があると思います。





名子 昇

Nago Noboru

グラフィックデザイン

NAGO デザイン事務所

〒602-8771 京都市下京区堀川通五条上る

柿本町571-209

Tel 075-812-6497

E-mail n-nago@ee.em-net.ne.jp

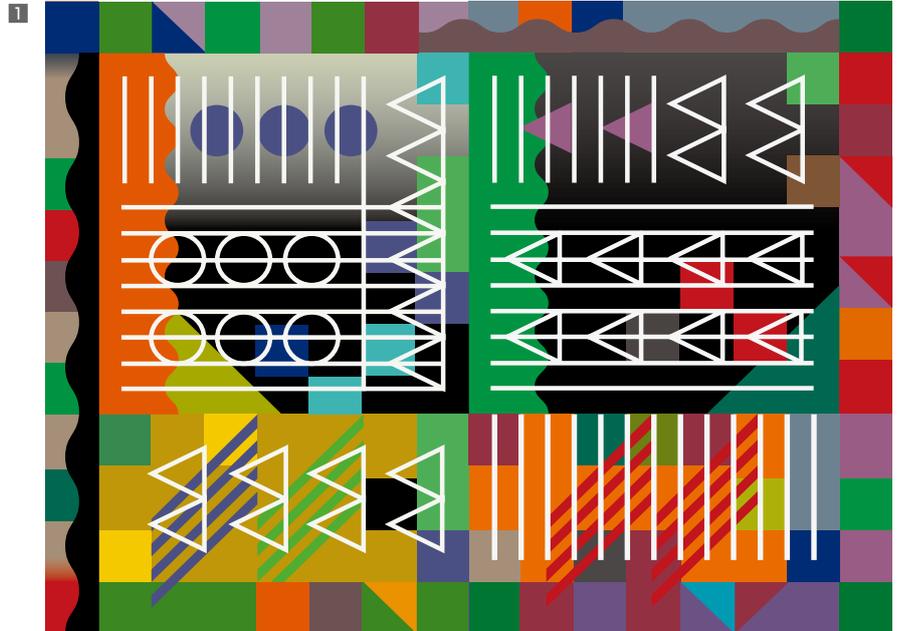
主な仕事

- カタログ・ポスター・書籍装丁編集等プリントメディアデザイン
- ロゴタイプ

いいものを創る コミュニケーションが 今、不足しています

いち早くデザインの重要性に着目し、独自のデザインセンスを打ち立てた、いくつもの企業体が、素晴らしい実績を残し、どの分野の経営者もデザインの重要性を実感しているのにもかかわらず、もの作りに入ると多くの事業体では、優れたものが何なのかわからなく右往左往しているのが、現状です。

それに対して明解な方策を打ち立てられない各分野でのデザイナーの知力も問題ですが、加えて、ユニークなものに着目する洞察力・選択のセンスがマニュアル化された組織には不足しているわけで、それを埋めるのがデザイナーの力だと常々思っています。もともとデザインには前もって正解が用意されていません、ひらめきに始まってそれをどう積み上げ、ユニークなものに展開し市場展開させていくのか。そのためのいろんな人やものとの深いコミュニケーションの必要性が、IT万能で簡単レベルの情報配信をよしとしている現代に求められているように思われてしかたありません。

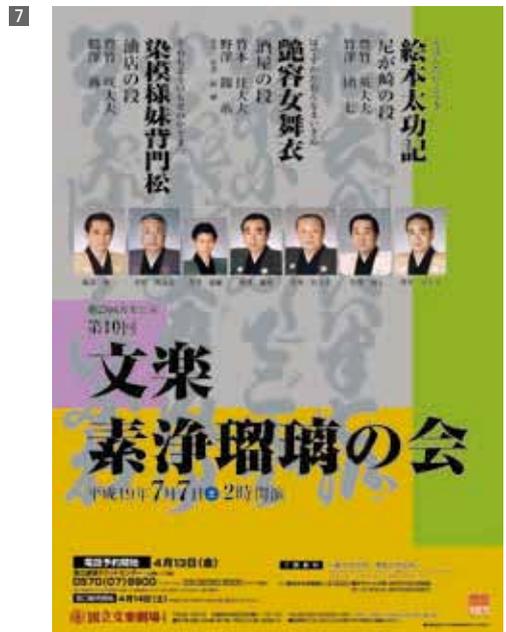
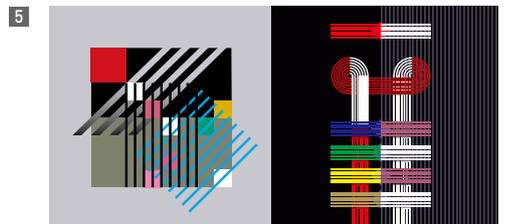


3 エコ・エルフ館



三和化工株式会社

日本海さかな街



- 1 プライベートアートワーク
- 2 製品ロゴタイプ
- 3 施設・企業名ロゴタイプ
- 4 文化施設カレンダー
- 5 プライベートアートワーク
- 6 書籍装丁
- 7 邦楽演奏会ポスター
- 8 製品カタログ





奈良 磐雄

Nara Iwao

ビジュアルデザイン

奈良磐雄デザインラボ
〒601-1366 京都市伏見区醍醐大構町20-21
Tel 075-571-7569
URL <http://www.dd.ij4u.or.jp/~nara/>
E-mail nara@dd.ij4u.or.jp

主な仕事

- ビジュアルデザイン
- コミュニティデザイン

町の色調 街並み洗練で活性化

私は京都の街の色について調査・研究を行い、京都の都市文化の向上を目指す市民団体「街の色研究会・京都」のメンバーとしても活動している。景観は、そこに住む人々の美的感性の集積とも言える。景観を変えるのは、服を着替えるように簡単にはいかないが、住民一人ひとりが向上心を持ち、時間をかけて取り組みれば必ずできる。

街の色の現状を確かめるため、今年1月半ばの朝、将軍塚大日堂（京都市山科区）境内にある展望台に立った。西の愛宕山、冠雪でうっすら白くなった北山の峰々、比叡山から手前の東山に至るまでの三方を山に囲まれた盆地に、京都市街が箱庭のように横たわる。京都の大景観を構成する空、山並み、川、道路、ビル群、公園、民家の屋根などすべてが朝もやに包まれ、グレーのベールをかけたようにしっとり落ち着いた色調だった。平安京が造営されたころも、1200年の時を経た現在も、朝もやにおおわれた大景観の色調はほとんど変わらないだろうと思えた。



1

やがて日が射してもやが晴れると、ピン트가合った風景写真のように景観の構成要素の形、色彩がはっきり見えてきた。市街地ビルの色調は全体的に少し色味のある明るめのグレー基調のものが多く、中でも新築ビルの色調は古くからのものより一段と鮮やかさを抑え、単調になりがちな壁面には凹凸による陰影を持たせている。全体的に落ち着いた色調の風景になってきている一方、それらとは対照的に明るく鮮やかな色調のビルもいくつか存在し、全体のイメージが損なわれている。それらが何なのかを詳しく見るため、中景観を構成する市街地中心部に移動した。ひときわ違和感を放っていたものの正体は、ビル工事現場の囲い布、立体駐車場や窓のない箱状ビルの巨大壁面、大型看板などだった。

触れられる距離にある小景観では、派手な色調の看板や自動販売機、宣伝用のぼり旗などの乱立が目立つ。中心部繁華街では他店との競争に勝つため、より派手に、より大きく、より多くとの「仁義なき戦い」が激しさを増し、その目的効果を相殺してしまっているとともに、住む人や訪問する人に不要な疲労感を与えている。



2

今まで京都市の景観への取り組みは、三山周辺の風致地区に重点が置かれてきた。21世紀はいよいよ、人間と街との関係が複雑に絡み合った市街地中心部の「仁義なき戦い」にも大ナタがふるわれる。地域が一体となった新たな秩序創出、リノベーションを行う好機だ。このリノベーションに秩序ある色彩作法を取り込み、街の色合いに統一感を持たせれば街並みは洗練され、周辺三山を含む京都全体の景観価値は格段に向上するのではないかと。

そこで、京都ならではの街並み景観色「京都カラー」を創設し、街の色調をある程度統一してはどうか。より洗練された新しい京都の姿を確かめようと観光客が訪れ、活性化につながることは間違いない。また、カラー創設にあたって市と市民、市民団体が共同参画することで、市民の間に景観への意識が高まる。景観、街づくりについて共通の価値観にたどり着くころには、京の街は都市としての成熟度をますます上げていることだろう。

京都新聞 「観光・京都おもしろ宣言」
2007年2月15日掲載の寄稿文を転載



3

- 1 朝もやのなかに目覚める京都市街 大景観
- 2 騒色が町の品格を落としている 小景観
- 3 色調に配慮された町中心部のホテル外観 中景観



橋本繁美

Hashimoto Shigemi

グラフィックデザイン

有限会社 橋本広告事務所
〒600-8431 京都市下京区綾小路通室町西
入ル善長寺町145番地 アヤーズ145ビル5F
Tel 075-341-6076 Fax 075-341-6092
URL <http://www.hai-sh.com>
E-mail hai-sh@world.ocn.ne.jp

主な仕事

● 広告および販促の企画制作 ● 企画編集

人の心を動かす「ことば」。 常に、コピーライターとして 豊かな発想でパワー全開。

感動。情熱。英知と愛。すべては好きという気持ちで、じぶんをレベルアップさせる。熱中する、夢中にさせる。最初に必要なのは、ちょっとした勇氣、あるいはとことん度胸。そこから生まれるのがコミュニケーション。さまざまな「ことば」を交わしながら気持ちが通いあう。そこに、共感、説得、そして信頼という絆が育っていく。人の原動力は、言動力。「ことば」を探せ、磨け。視点を変えろ。発想はどうだ。新しい価値を見い出せ。何をいうか。いかに好感を持って届くように表現するかが私の仕事。いくつになってもクリエイティブな世界はキラキラとまぶしい。人間、錆びたら、お終いよ。

● ●
かって京都に、関西に、いや日本に世の中を動かす凄腕のコピーライターがいた。今西慧さん、たいへんお世話になった私の師匠であり、当協会の四代目理事長（1990～92）だった。この出会いがすべての始まりだった。ありがとう。心より感謝。



みんな、水の中から生まれて来た。だから、生物はほとんどすべてが水なしでは生きていけない。

1



弾ける火花、二十歳。

2

1 JAGDA出品ポスター-Water For Life.

2 環太平洋DESIGN出品ポスター-手筒花火



久谷 政樹

Hisatani Masaki

グラフィックデザイン

久谷デザイン研究室

〒606-8272 京都市左京区北白川山田町26-31

Tel 075-701-4675

Fax 075-701-4675

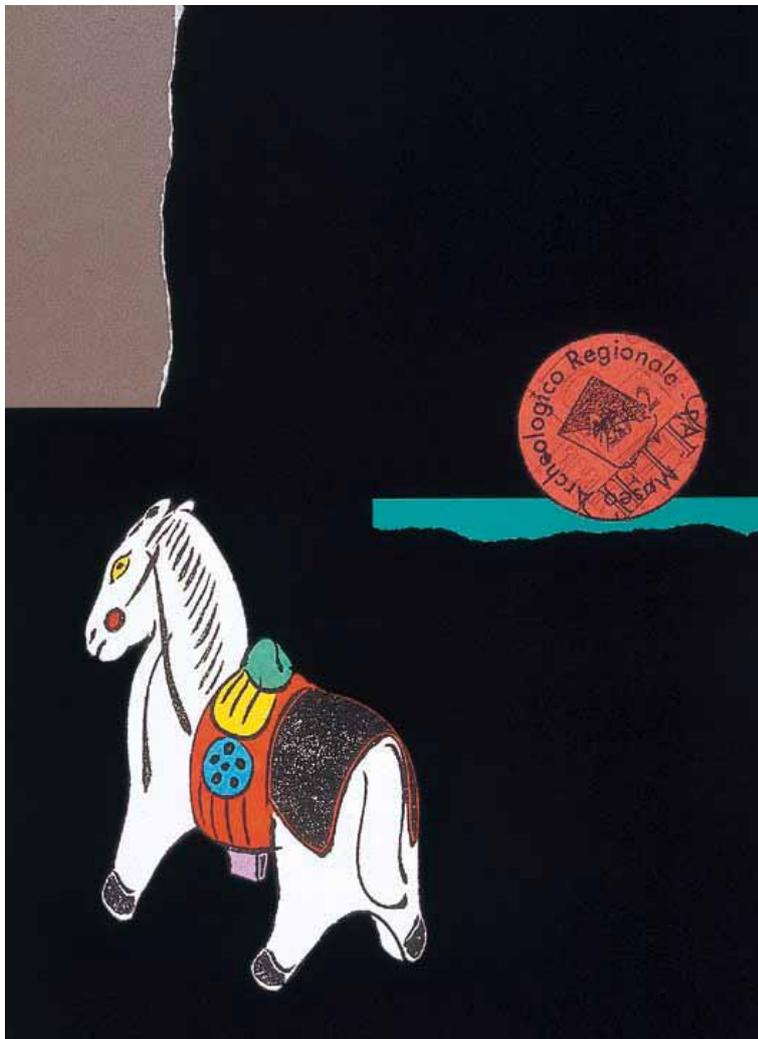
E-mail hichan8800@yahoo.co.jp

主な仕事

- グラフィックデザイン ●サインデザイン
- プロダクトデザイン ●インテリアデザイン

京都人の美意識は世界に通用する

マリー・アントワネットが蒔絵に魅せられ、コレクションしたように。また、明治時代に来日したお雇い外国人フェロノサが琳派を「世界最高の装飾芸術」と評価したように。昭和始めにドイツから亡命したブルーノ・タウトが「泣きたくなるほど美しい」と絶賛した桂離宮などのように。日本人の美意識、いや京都人の美意識は世界に堂々と誇れるものである。京都という土地にいて仕事をするに、最近少しばかり自信がもてるようになってきた。



1



2



3



4



5

- 1 年賀状原画
- 2 ポスター(シルクスクリーン)
- 3 ポスター(シルクスクリーン)
- 4 ポスター個展(ディースギャラリー2003年)
- 5 地下鉄東西線サインデザイン



傅 巍

Fu Wei

篆刻

(社)京都デザイン協会事務局へお問い合わせください。

主な仕事

- 書
- 画
- 篆刻

古典を守り 斬新な作品を創る!!

人は言葉で自分の意思を伝達する。話す言葉や手書き言葉や身ぶり言葉などさまざまな表現がある。篆刻とは刻す言葉である。「方寸の内に森羅万象を盛る」芸術であると言われている。篆刻の基本は三法があり一は字法(篆書体) 二は章法(布置、構成、デザイン) 三は刀法(筆法)であり、この三法を守りながら作品を制作しなければならない。古文字の造形は実に多彩で神秘的でありいつも何か新しい発見をさせてくれる新鮮な魅力を持っている。古典のにおいのする深遠な味わいを追求しながら、新たな技巧で飾ることが現代人の課題となっている。思うようにならないものづくりの厳しさを痛感している。



2

1 印文内容:文以拙進、道以拙成(篆刻で論語の句を表現)

2 中國篆刻百家

1



藤原 義明

Fujiwara Yoshihiro
グラフィックデザイナー
パッケージデザイナー
カリグラファー

MEDIA WHITE CO.LTD

〒600-8492 京都市下京区四条通新町東入
月鉾町47-3 JK四条ビル4F

Tel 075-251-6464

URL <http://www.kyo-media.net/>

E-mail info@kyo-media.net

主な仕事

●グラフィックデザイン全般・パッケージデザイン

デザインで . . . 金儲けより、人儲け

貴方は何屋さんですか？人によく聞かれることがある。イラスト描いたり、マンガ描いたり、写真撮ったり、筆文字書いたりしているから仕方が無いのかもしれないが、おかげで器用貧乏とよく言われる。どうも世間では肩書きや職業によって人を決めようとする傾向が強いらしい。デザイナーと言う響きの良い肩書きを武器に、せっせと金儲けに勤しむよりも、人に喜ばれるデザインをし、人との出会いを大切にして「人儲け」をする方が、自分の性に合っている。自分にとって創作活動とは、その活動を通じてどんな人と出会えたかが大切であり、それが一番の宝物である。



1



2



3



4

- 1 協同組合 京のほんまもん塾 ロゴ、マーク
- 2 2007年度カレンダー「野菜の詩」
- 3 きょうもらくらく 京都/滋賀の介護・医療
- 4 ゴルフ人生 喜怒哀楽 グリーン珠玉小説



古川 加津夫

Furukawa Kazuo

ビジュアルデザイン

〒612-0846

京都市伏見区深草大亀谷万帖敷町139-12

Tel 075-642-0870

E-mail :kazuofurukawa@gmail.com

主な仕事

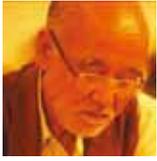
- グラフィックデザイン
- WEB

京都のデザイン運動—55年目の40周年

日宣美展が始まって2年後の1952年、京都在住で活躍するグラフィックデザイナー数名が発起人となって、交流・研鑽・育成を主な目的として、「京都商業デザイン協会」が発足。1955年に発足した「京都商業美術家協会」と1956年4月合併し「京都商業美術協会」が誕生した。その5年後には会員総数82名の団体となっていた。当時、協会の主なイベントは年1回デパートで行われる『京商美展』。ポスター部門、新聞広告部門、自由作品部門を設けて、京都の若きデザイナーの卵を数多く育てた。会員展の他、セミナー、例会、部会での勉強会を積極的に行ない活発な活動を展開した。こういった京都のデザイナーの取り組みは、1967年の京都デザイン協会設立の足がかりとなっていく。

55年前に京都から発したデザイン運動は、今もその流れを絶やすことなく歩み続けているようである。





松原 出

Matsubara Izuru

パッケージデザイナー

ALFABOX

〒602-8771 大津市日吉台四丁目2番2号

Tel 077-579-6280 Fax 077-579-6290

URL

<http://www.prmvr.otsushiga.jp/alfabox>

E-mail alfabox@prmv.otsushiga.jp

主な仕事

- パッケージデザインの企画・製作

持続・継続・熟成 熱し易く冷め易い(醒)

一世紀も前に作られた道具や製品が現代でも使われ、愛されているものがありますが、現代生まれたものが100年後の生活の中で愛着をもって使われるものがあるのでしょうか？

本来、私の好きな、自動車のデザインにしてもそれがあります。目まぐるしく外形や性能は変りGood designとか云われていますが、私の目から見て(特に日本の車) 一台もほしいものはありません。目先の情報や消費者ニーズを片寄った評価を元にコンピュータで割り出し作られたものばかりで私の考える永く愛され、使い続けられると云う考えはなく、消費し回転させる事が最大目的=もうけになっています。企業のモラルが低下し短期短期で物が流れて行く事に大きな危機感を覚えます。



1



2

3

1 アレンジフラワーのためのオール紙製ピアノ

2 縮尺 $\frac{1}{3}$ の紙製琴

3 和の香箱



松原 醇子

Matsubara Junko

服飾デザイン

アトリエ・醇

〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通り

新町東入ル東塩小路町579-11

スタシオン・スエリジェ502号

Tel 075-450-8000

E-mail atelierj@gc5.so-net.ne.jp

主な仕事

- 大人の女性の服をオーダーメイド。

心豊かでエレガントな女性を描きつつけていきたい。

カジュアルで過激な装いが街中に汎濫してしまっています。流行を敏感に取入れていく事も大事ですが、物まねに走るような事ではいけません。個性的に装っていたいなら本来あるべき時、場所、目的を心得た上でしっかりと衣服文化というものを身につけて、その上でファッション感覚を磨いていって欲しいと思います。街中をもっとエレガントに美しい装いの女性が行き交う場になるために、いい洋服創りを続けていきます。



- 1 NDCショー タウンコート 2003年
- 2 NDCショー テーマカラー 2005年
- 3 NDCショー フォーマルドレス 2005年
- 4 NDCショー フォーマルドレス 2006年
- 5 NDCショー 笹倉玄照堂タイム 2004年



元橋 一裕

Motohashi Kazuhiro

エディトリアルデザイナー

Tiki Script

〒604-8332 京都市中京区三条堀川西入ル
橋西町「三条会商店街内」南側

HP 090-6914-5140

URL http://www.kyotocf.com/mo99un_blog/

E-mail mo99un_tikisurf@khf.biglobe.ne.jp

主な仕事

- マガジン・エディトリアル
- パッケージ、パンフレットデザイン
- テキストライティング
- コンセプトワーク
- ロケーションサービス
- 芦屋小雁プロモート

「京都」の文化を情報でなく
知的財産に。
量でなく質の「京都」を
書く×編集する。

雑誌「京都CF!」の編集を長年やって
きて解かったことは、世の情報誌が
謳う情報が如何に一過的で唯物的で
希薄かという事実。象徴的貧困に陥る
国内外の観光客は、京都の上辺だけを
眺めることを観光と称し、本質を見定める
逍遥を知ろうとしない。少しでも真の
京文化や物ごとの本質が、人々に色々な
媒体や制作物を通して伝えることがで
きたなら。真摯に書き残し編集したい
京都がある。そう思い本年、編集プロ
ダクションを起業する。



1



2



3



4

- 1 編集長を卒業、企画やコラムで参画する「京都CF!」
- 2 芦屋小雁氏の個展プロデュースと舞台劇のビジュアル制作を昨今手掛け始めた。
- 3 4 パッケージのデザインとネーミングを施した、御殿ハッ橋の新品「マロンのロマン」と「琴の辛音」



山岡敏和

Yamaoka Toshikazu

イラストレーション

〒616-8374 京都市右京区嵯峨天龍寺
北造路町21-1 ガーデン嵐山302
Tel 075-882-6090
URL <http://www.t-yamaoka.com>
E-mail yamaoka@juno.dti.ne.jp

主な仕事

- 広告イラストレーション

デジタルから もう一度アナログへ

四十数年前、幼稚園で見たキンダーブックの見開きに描かれた星空の絵を見て、「こんなん 描きたいなあ。」と思ったことをよく憶えています。以来、他の職業に就くことを全く考えること無く、フリーのイラストレーターになって26年。紙に絵の具で描くものだったイラストも、今ではコンピューターに向かってマウスで描くものになってしまいました。しかし、そういう時代だからこそ手作業の良さをもう一度見直し、アナログなイラストに力を入れていきたいと思います。



上段=左・中はミズノポスター 右はテイジンリーフレット 下=立体イラスト・オリジナル



大和文昭

yamato fumiaki

和プロデューサー

ヤマトプランニング

〒606-0904 京都市左京区松ヶ崎柳井田町4-1

Tel・Fax 075-712-3477

E-mail yamatoplan@proof.ocn.ne.jp

主な仕事

- キモノ創作プロデューサー
- 夢之介ブランドデザイン
- 和文化イベントプランニング

キモノ和今洋彩

時代をとらえるキモノ創作

古きよキモノとしての和を
新しきよキモノとして創作してゆきます。

和の国、日本が持つ本流・本物・本質。そんな和の伝統デザインをキモノに生かしてまいります。これからの時代のライフスタイルに合うキモノ。文化や生活の中のシーンに見えてくるキモノ。流行を追うよりも、流儀のある創作。

古風だけれど、古くない。新しいけれど、軽くない。
変わらないために変わり続けます。

「和の服」というキモノ

おしゃれに・素敵に・ソーシャルに

夢々としてあろ

Y O U M E
S O C I A L
K I M O N O

INTERNATIONAL



吉田 治英

Yoshida Haruhide

プロダクトデザイン・企画デザイン

(社)京都デザイン協会事務局へ
お問い合わせ下さい。

主な仕事

- プロダクトデザイン
- まちづくりデザイン
- 防災デザイン

デザインで潤う人、 社会そして地球

デザインにおいて領域と言う概念は薄れつつある。製品のデザインであれ、パッケージデザインであれ、そしてまちづくりデザインであれ、もはや環境という課題は避けて通れない、このことはデザインに領域を越えた新しい価値観が求められている一例であろう。

防災デザインにかかわり10年、より美しく、より機能的なデザインというプラスの価値観に加え、今後、マイナス要素への対応デザインはより重要となりつつあることを強く感じる。付加価値から必要価値へのデザインという視点を、防災にとどまらずジャンルを越えて持ち込むこと、そして、デザインの原点ある美しさとの両立を目指したい。

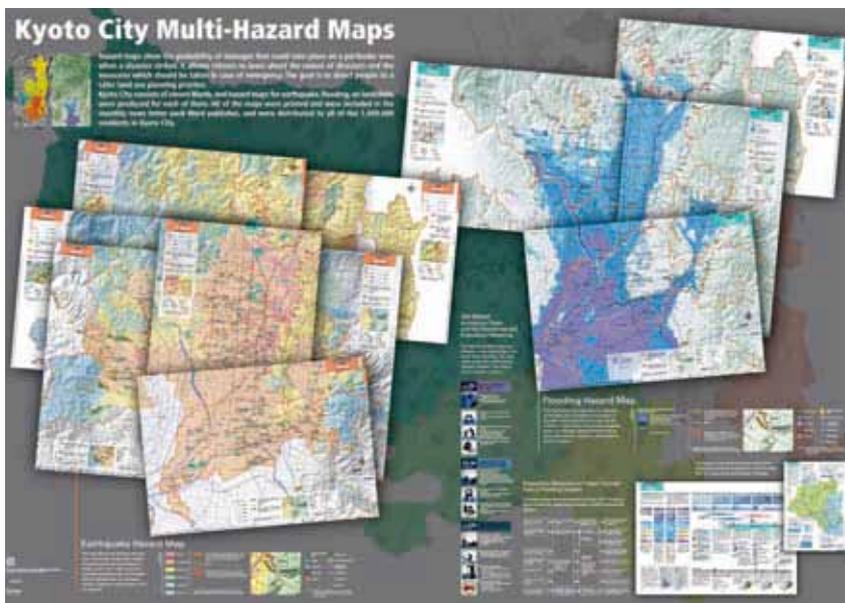
このことは、伝統に裏打ちされた、美意識の強い京都という地からの発信により、さらに強いメッセージになることを信じている。



1



2



3

- 1 ヤマハパーソナルウォータークラフト GP1200
- 2 モリタ製作所、歯科診療装置 Spaceline 630
- 3 京都市防災マップ編集及びデザイン参画

見えないものをカタチに置き換え

Design

心に響く色彩を自由に表現する

情熱という名の才能。
京都からデザインを発信するメンバーたち。



KDA Member's AD

Special support member

宝酒造株式会社
平和紙業株式会社
株式会社ワコール

Supporting member

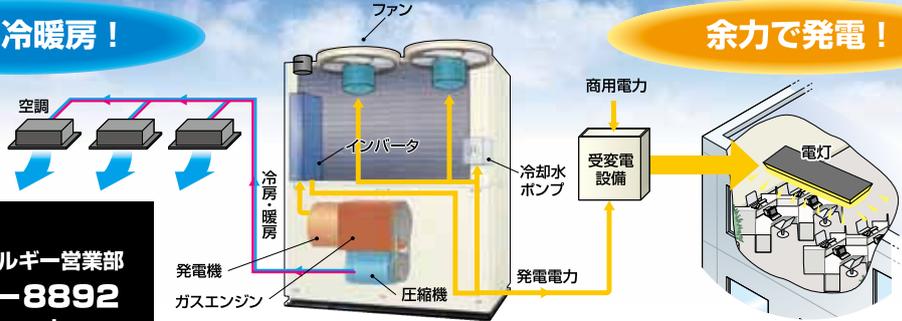
株式会社アウラ
市田株式会社
大阪ガス株式会社
有限会社画箋堂
カミヨ株式会社
株式会社京都銀行
京都信用金庫
株式会社京都大和
京都中央信用金庫
京都百貨店協会
有限会社松園
株式会社聖護院ハツ橋總本店
株式会社竹尾大阪支店
株式会社田中プリント
株式会社千總
朝陽堂印刷株式会社
日本写真印刷株式会社
株式会社半兵衛麩
富士ゼロックス京都株式会社
株式会社フジヤ京都支店
ムーサ株式会社
山内紙器株式会社
吉忠株式会社
六和証券株式会社
株式会社若林佛具製作所

空調+パワフル発電 ハイパワー エクセル Highpower EXCEL

発電した電気を建物に送る画期的なガスヒーポン
 空調しながら、エンジン余力で2kW~3.95kW/台の発電が可能 *インバータ出力端での発電出力

ガスで冷暖房！

余力で発電！



お問合せ先
 大阪ガス株式会社 京滋エネルギー営業部
TEL : 075-315-8892
<http://www.osakagas.co.jp>

Beautiful And Mind

当社が目指すメディア制作のテーマは、「Beautiful And Mind」。
 人々のコミュニケーションを創造し、
 メディア本来の役割と価値を高め、
 より多くの人が「伝える」ということを
 リーズナブルに行うために、
 当社では企画から印刷、製造まで
 一貫した生産体制を構築しております。

JAPAN CREATION & DIGITAL GRAPHICS

KAMIYO
 カミヨ株式会社

〒600-8498 京都市下京区四条通り堀川東入ル
 Tel.075-221-4922 Fax.075-221-5935
<http://www.e-kamiyo.com>
 E-mail: info@e-kamiyo.com

なが——い、おつきあい。



良かったと言える人生。

優しい気持ちになれる人生。

自分らしく生きる人生。

京都銀行は、人生のさまざまなチャンスで、

気さくにサポートする飾らない銀行です。

どうぞ、なが——い、おつきあいを。

飾らない銀行

京都銀行

<http://www.kyotobank.co.jp/>

地域とともに コミュニティ・バンク

地域とともに・・・これが「コミュニティ・バンク」の原点です。
地域の皆様にとって一番近い存在であるように、
これからも 社団法人 京都デザイン協会 の皆様とともに歩んでまいります。



京都市下京区四条通柳馬場東入
TEL(075)211-2111
<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>



みなさまのすぐとなりに京都中央信用金庫がいます。



本店・四条烏丸西 TEL.223-2525
www.chushin.co.jp

since 1689



SHOGOIN
YATSUHASHI



聖護院ハツ橋総本店

京都市左京区聖護院山王町六 電話075(761)5151代

大阪見本帖

たくさんの紙情報の中から、イメージにピッタリの紙をお選びいただけるショールームです。紙選びや、紙の印刷・加工適性などお気軽にご相談ください。また、急ぎやプレゼンテーションの用紙として、全判サイズ1枚からご購入いただけます。FAXによる紙の通信販売もごございますのでご利用ください。

〒577-0065 大阪府東大阪市高井田中1-1-3
Tel. 06-6785-2224 9:00 - 17:00 土日祝休
eisui.osaka@takeo.co.jp

見て、触れて、選べる、 紙の情報センター



株式会社 **竹尾** <http://www.takeo.co.jp/>

大阪支店 〒577-0065 大阪府東大阪市高井田中1-1-3
Tel. 06-6785-2221(代)

本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-12-6
Tel. 03-3292-3611(代)

見本帖本店 Tel. 03-3292-3669 / 03-3292-3631 (ショップ)
青山見本帖 Tel. 03-3409-8931

国内 名古屋支店・福岡支店・仙台支店・札幌営業所
海外 香港・シンガポール・上海・クアラルンプール・バンコク

『デザイナーのこだわり』形にします。

私たちは、色・形・素材・大きさなど「こだわり」を形にできます。

私たちは、企画から組版、デザイン、製版、印刷、製本、化粧、折り、加工、封入、発送、納品まで一括で引き受けられます。

私たちは、一貫生産と最適な印刷方法のノウハウにより大幅なコストダウンをはかっています。

私たちは、1枚～数10万枚まで対応できる、オンデマンドシステムとオフセット・輪転、シルク印刷などのシステムを取り入れています。

私たちは、従来の上質紙やコート紙、マット紙はもちろん印刷しにくい特殊紙や紙以外の塩ビやユポ、ペット、布などの特殊素材、厚手の用紙や堅いボール紙など幅広い素材に対応できます。

私たちは、名刺よりも小さな物からB0以上の大きさのものまで幅広く対応できます。

まずはお問い合わせ下さい。

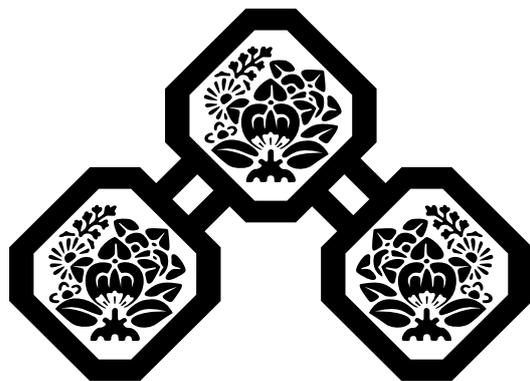
TEL 075-343-0006 FAX 075-341-4476

E-mail office@tn-p.co.jp

企画・デザイン・総合印刷・製本

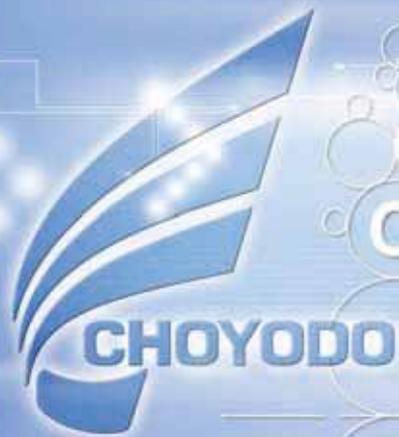
株式会社 田中プリント

〒600-8047 京都市下京区松原通麩屋町東入ル677-2



千 總

企画・製作から印刷までトータルにプロデュース



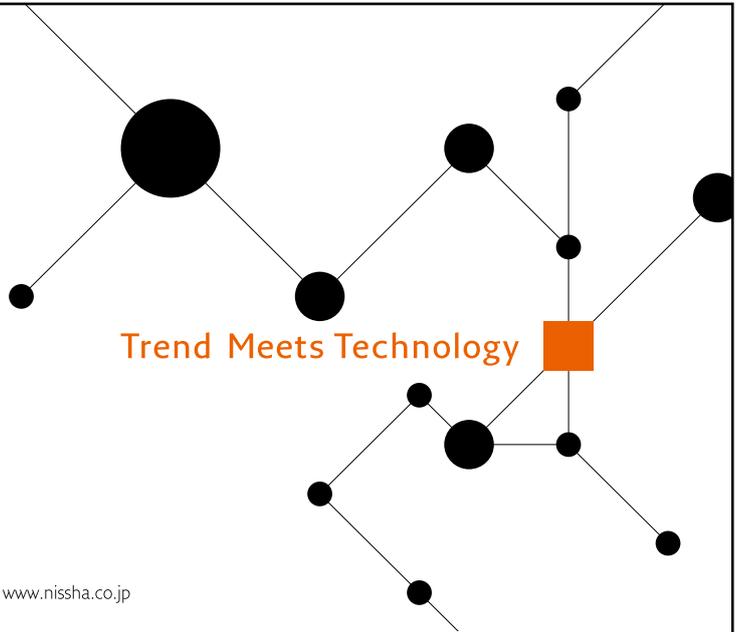
I nternational
S tandardization
O rganization

ISO 9001・経営革新支援法 認定企業

朝陽堂印刷株式会社

本 社 〒601-8033 京都市南区東九条南石田町1
TEL 075-681-5331 (代) FAX 075-661-0242

NISSHA



Trend Meets Technology

1929年、京都の地に創業したNISSHAは、
高度な印刷技術をベースに独自のコア技術を発展させてきました。
NISSHAのブランドステートメントはTrend Meets Technology。
培った表現技術をグローバルな市場トレンドに対応させることで、
印刷情報・産業資材・電子という3つの事業分野で
未来志向のソリューションを提供しています。

日本写真印刷株式会社 604-8551 京都市中京区壬生花井町3 T 075 811 8111 www.nissha.co.jp



TEL 075-525-0008
URL <http://www.hanbey.co.jp/>

美しいカラー印刷を小ロットから

Eprint™
1000
TurboStream



納期の短縮とコストの削減を実現

山内紙器株式会社では、デジタルオフセット印刷機「E-Print 1000 Turbo Stream」を導入し、Eプリントサービス事業部において、データ作成から印刷まですべてデジタルで対応しております。今までコストや時間の問題でできなかった少数の印刷でも短期間・低コストで簡単にフルカラー印刷ができるようになりました。必要な時に必要な数だけ印刷できるので、常に最新の情報を提供することができます。販売促進や営業活動ツールなどに幅広くお役立て下さい。



山内紙器株式会社 Eプリントサービス事業部

〈京都本社〉〒615-0852 京都市右京区西京極西川町15番地
Tel.075-312-3557 Fax.075-314-3701
E-mail: eprint@yamapac.co.jp

〈神戸支社〉〒658-0046 神戸市東灘区御影本町3丁目7-11
Tel.078-851-7211 Fax.078-843-1545
E-mail: kobe@yamapac.co.jp

**TOMORROW'S
FASHIONS
TODAY**

トータルファッション……
ロマン吉忠



吉忠株式会社

吉忠京都ロマン株式会社
吉忠フロンティア株式会社

まごころで明日を創る

六和証券株式会社

SECURITIES CO.,LTD.
rokuwa



京都を愛し
これからも皆様の笑顔と共に

本店 〒604-0837 京都市中京区東洞院通二条下ル瓦之町397-1
Tel 075-221-7521 (代)/ファックス 075-256-0807
舞鶴営業所 〒625-0036 舞鶴市宇浜808番地
Tel 0773-62-3643 (代)/ファックス 0773-63-5686
綾部営業所 〒623-0021 綾部市本町6丁目40-2
Tel 0773-42-6560 (代)/ファックス 0773-63-8460

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第37号 日本証券業協会加入

夕
に
感
謝



朝
に
礼
拝

MADE IN KYOTO

SINCE 1830

伝統工芸 京仏壇・京仏具

(株) 若林

www.wakabayashi.co.jp

京都本社 / 京都市下京区七条通新町東入

☎(075)371-3131 代 年中無休

フリーダイヤル ☎0120-37-8585 (各店共通)

東京店・築地店・札幌店・仙台店・近江草津店・福岡(営)・新潟(営)

FAX(075)371-3140 E-mail:info@wakabayashi.co.jp



KYOTO
DESIGN
HOUSE

OPEN 11:00→20:00

Holiday/Monday

(株) 京都デザインハウス

京都市中京区三条通高倉東入榎屋町53-1

DUCE MIX Bldg 1F 〒604-8111

TEL.075-221-0200 FAX.075-221-0233

E-mail shop@kyoto-dh.com

http://www.kyoto-dh.com

地下鉄「烏丸御池」駅



地下鉄「烏丸御池」駅より徒歩5分



京都の漬物 | 京町家
川勝本家

京都市下京区大倉通五条上る上五条394番地
電話(075)84110131
FAX(075)84110645



京漬もの一筋に九十年





Design Power KDA

Kyoto Design Association 40th Anniversary

社団法人 京都デザイン協会 40周年記念誌

企画・編集 社団法人 京都デザイン協会

発行者 久谷 政樹

編集 尾崎 要
奈良 磐雄
橋本 繁美
藤原 義明

編集・デザイン 小山比奈子
田中 聡
辻 勇佑

実行委員 井上 捷之
大石 義一
小川 富男
川口 凱正
熊谷 實
小山比奈子
佐々浪昌夫
竹林 善孝
田中 聡
辻 勇佑
土居 英夫
永田 義博
奈良 磐雄
橋本 繁美
久谷 政樹
藤原 義明
古川加津夫
松原 醇子

鈴鹿 且久<(株)聖護院八ツ橋本舗>

吉田 忠嗣<(株)吉忠>

Design Power KDA
Kyoto Design Association 40th Anniversary

発刊日 2007年11月13日

発行 社団法人 京都デザイン協会

事務局 社団法人 京都デザイン協会

〒602-8233

京都市上京区段屋町通中立売上ル福大明神町128

京都西陣町屋スタジオ1F

TEL.075-415-8008 FAX.075-415-8028

印刷・製本/株式会社タムラ印刷

本誌掲載の記事・写真などの無断転載を禁じます。

N E X T !

平 和 紙 業



HEIWA PAPER

新しいマークで新たな気持ちで。

私たちは紙の未来を世界に拓きます。

平和紙業株式会社

東京本店
104-0033 東京都中央区新川1-22-11
Tel.03-3206-8511 Fax.03-3206-8510

大阪本店
542-0081 大阪市中央区南船場2-3-23
Tel.06-6262-1212 Fax.06-6262-4323

名古屋支店
450-0002 名古屋市中村区名駅3-5-3
Tel.052-563-2211 Fax.052-563-2210

福岡支店
812-0892 福岡市博多区東那珂3-2-24
Tel.092-474-1812 Fax.092-474-1817

仙台支店
983-0043 仙台市宮城野区萩野町3-12-1
Tel.022-235-0811 Fax.022-283-2353

海外事業部
104-0033 東京都中央区新川1-22-11
Tel.03-3206-8531 Fax.03-3206-8548

札幌
060-0013 札幌市中央区北13条西17-1-41
Tel.011-717-3221 Fax.011-717-7308

東大阪
577-0005 東大阪市七軒家19-15
Tel.06-6744-4348 Fax.06-6745-9139

広島
733-0833 広島市西区商工センター6-5-9
Tel.082-277-6336 Fax.082-277-6337

海外
香港・上海・欧州(ドイツ)

URL:<http://www.heiwapaper.co.jp/>

ISO14001:2004 審査登録

